

平成29年度安芸地域アクションプランの追加、削除、拡充等（予定項目）について

地域アクションプランの動向

H28年度 237 → H29年度 238 (+1)

地 域	H28年度 (第3期)	H29年度 (第3期Ver.2)				
	AP数 H28.9.12時点	追 加	削 除	統合 分割	小 計	AP数
安 芸	31	1	0	0	1	32
物部川	27	0	▲ 1	0	▲ 1	26
高知市	30	1	▲ 1	0	0	30
嶺 北	23	0	0	0	0	23
仁淀川	37	0	0	0	0	37
高 幡	42	0	0	0	0	42
幡 多	47	4	▲ 3	0	1	48
合 計	237	6	▲ 5	0	1	238

安芸地域アクションプラン項目（第3期計画（H28年度））と

No.	平成28年度	室戸市	安芸市	東洋町	奈半利町	田野町	安田町	北川村	馬路村	芸西村
		9	5	7	7	6	6	5	5	4
1	ユズを中心とした中山間振興	●	●		●	●	●	●	●	
2	ポンカン加工品開発と後継者確保による地域振興			●						
3	やすだ資源を活かした6次産業化事業の推進						●			
4	白下糖の生産拡大と新商品の開発									●
5	土佐備長炭の生産・出荷・販売体制の強化	●		●						
6	林業加工品の販売の促進								●	
7	芸東地域の水産物の付加価値向上と販路拡大	●		●	●	●	●			
8	安芸市のシラス漁業者所得の向上		●							
9	海洋深層水による地域産業の推進	●								
10	キラメッセ室戸「楽市」を核とした地産地消・外商の拡大	●								
11	海の駅東洋町を拠点とした地域振興			●						
12	有害鳥獣を活用した商品開発と販路開拓			●						
13	地域食材を活かした奈半利町の特産品づくりの推進				●					
14	完全天日塩を活用した産業振興及び観光への活用					●				
15	道の駅「田野駅屋」の機能強化に向けた取組					●				
16	地場産品直販所「かっぱ市」による地域活性化									●
17	安芸地域の観光振興の推進	●	●	●	●	●	●	●	●	●
18	魚梁瀬森林鉄道遺産を活用した交流人口の拡大				●	●	●	●	●	
19	世界ジオパーク認証を活かした観光の振興	●								
20	「海の駅とろむ」を核とした交流人口の拡大	●								
21	岩崎弥太郎や地域食材等を活用した観光の推進		●							
22	東洋町における体験観光の推進			●						
23	藤村製絲を活用した観光振興				●					
24	北川村観光3施設の誘客強化による交流人口の拡大							●		
25	旧椎名小学校を活用した地域振興	●								
26	集落活動センター「かまん東川」を拠点とした魅力ある地域づくり		●							
27	奈半利ブランドの確立と販路の拡大				●					
28	安田中山地区の活性化プロジェクト						●			
29	北川村中部地区の活性化プロジェクト							●		
30	馬路村魚梁瀬地区の活性化プロジェクト								●	
31	集落活動センター「げいせい」を拠点とした”小さくてももっと元気で輝くむら”づくり									●

第3期計画Ver.2 (H29年度) の対比表

【安芸地域】

		室戸市	安芸市	東洋町	奈半利町	田野町	安田町	北川村	馬路村	芸西村	No.	平成29年度
		9	6	7	7	6	6	5	5	4		
①拡充	●	●		●	●	●	●	●	●		1	ユズを中心とした中山間振興
			●								2	ポンカンの加工品開発と後継者確保による地域振興
						●					3	やすだ資源を活かした6次産業化事業の推進
									●		4	白下糖の生産拡大と新商品の開発
	●		●								5	土佐備長炭の生産・出荷・販売体制の強化
									●		6	林業加工品の販売の促進
	●		●	●	●	●					7	芸東地域の水産物の付加価値向上と販路拡大
		●									8	安芸市のシラス漁業者所得の向上
	●										9	海洋深層水による地域産業の推進
	●										10	キラメッセ室戸「楽市」を核とした地産地消・外商の拡大
①追加	●										11	安芸本町商店街を中心とする地域の活性化
			●								12	海の駅東洋町を拠点とした地域振興
			●								13	有害鳥獣等を活用した商品開発と販路開拓
②拡充				●							14	地域食材を活かした奈半利町の特産品づくりの推進
					●						15	完全天日塩を活用した産業振興及び観光への活用
					●						16	道の駅「田野駅屋」の機能強化に向けた取組
									●		17	地場産品直販所「かっぱ市」による地域活性化
	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	18	安芸地域の観光振興の推進
				●	●	●	●	●	●		19	魚梁瀬森林鉄道遺産を活用した交流人口の拡大
	●										20	世界ジオパーク認証を活かした観光の振興
●										21	「海の駅とろむ」を核とした交流人口の拡大	
③拡充	●									22	岩崎弥太郎や地域食材等を活用した観光の推進	
④拡充			●								23	東洋町における体験型・滞在型観光の推進
				●							24	藤村製絲を活用した観光振興
								●			25	北川村観光3施設の誘客強化による交流人口の拡大
	●										26	旧椎名小学校を活用した地域振興
		●									27	集落活動センター「かまん東川」を拠点とした魅力ある地域づくり
				●							28	奈半利ブランドの確立と販路の拡大
						●					29	安田中山地区の活性化プロジェクト
								●			30	北川村中部地区の活性化プロジェクト
									●		31	馬路村魚梁瀬地区の活性化プロジェクト
										●	32	集落活動センター「げいせい」を拠点とした”小さくてももっと元気で輝くむら”づくり

安芸地域アクションプランの追加・削除・拡充等（予定項目）

■追加

NO.	アクションプラン名	事業概要
1	安芸本町商店街を中心とする地域の活性化（安芸市） 【事業主体】 安芸本町商店街振興組合、安芸商工会議所、安芸市	「全国商い甲子園」の開催やチャレンジショップ、中山間の移動販売などの取り組みを進めるとともに、新たな集客イベントや空き店舗対策等を行うことにより、商店街や周辺地域の活性化を促進する。

■削除 なし

■その他(拡充)

NO.	アクションプラン名	見直しする内容
1	No. 1 ユズを中心とした中山間振興（室戸市、安芸市、奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村） 【事業主体】 JA 土佐あき、JA 馬路村	【拡充】 JA 馬路村によるユズ果汁等の安定供給と積極的な販路開拓の取り組みに、新たな加工施設の検討・整備を追加する。
2	No. 14 完全天日塩を活用した産業振興及び観光への活用（田野町） 【事業主体】 田野町、民間事業者	【拡充】 新規就業者の育成・環境整備の取り組みに、養成施設の整備や新規就業者の独立に向けた環境整備を追加する。
3	No. 21 岩崎弥太郎や地域食材等を活用した観光の推進（安芸市） 【事業主体】 安芸市、安芸市観光協会、漁協、伊尾木あなごう保存会、内原野陶芸館、JA 土佐あき、安芸市観光ボランティアガイドの会、廓中ふるさと館、メリーガーデン、はたやま夢楽、安芸「釜あげちりめん丼」楽会	【拡充】 主な内容に、来年度以降の整備が計画されている道の駅大山及び大山岬周辺の魅力向上に向けた取り組みを追加する。 また、指標及び目標のうち、ちりめん丼販売食数の目標値(H31)を上方修正する。
4	No. 22 東洋町における体験観光の推進（東洋町） 【事業主体】 東洋町、地元マリンスポーツ関係事業者、東洋町観光振興協会	【拡充】 主な内容に、誘客の促進を追加し、取り組みの強化を図るとともに、事業主体に宿泊事業者を追加する。 また、プラン名を「東洋町における体験型・滞在型の観光の推進」に変更する。

有望素材シート（29年度）（案）

『地域アクションプラン』検討過程での有望素材の洗い出し

市町村名	安芸市	素材名	安芸本町商店街を中心とする地域の活性化
		関連素材	

現状・課題	<p><現状> 安芸本町商店街は、安芸市中心市街地に位置し、古くから栄えてきた商店街であり、平成5年度から12年度に掛けて共同駐車場及び街路灯設置、セットバック（建物の後退による道路幅の拡大）、組合員店舗改築などの環境整備事業を実施し新しい商店街となった。しかし、安芸市内への大型量販店の進出やモータリゼーションの進展による高知市への顧客の流失もあり、商店街を中心とする中心市街地の空洞化が進行している。最盛期には75店舗（H10年度）の組合員があったが、現在では46店舗に減少するなど活力が失われてきている。</p> <p><課題> 今後、ネット販売との競合、地域の人口減少、少子高齢化の進行も見込まれ、さらなる商店街と中心市街地の衰退は避け難い状況となっている。</p>
方今後の	<p>そのような厳しい状況にあるが、安芸本町商店街は、商店街の賑わい創出を目的とした継続的な販促イベントに取り組んでいる。平成20年度に「全国商い甲子園」、平成24年度に「出張商店街」をそれぞれスタートし、平成27年からは県補助事業を活用して新たにチャレンジショップもオープンしている。さらに、平成28年10月から、中山間地域の高齢者等の買物支援のための移動販売を始める等、地域活性化の担い手、地域コミュニティを形成する「場」としての地域貢献の取り組みを強化している。</p>

「有望素材」を活かした具体的な取り組み（案）

『地域アクションプラン』における具体的な取り組み案

項目	取り組み名	安芸本町商店街を中心とする地域の活性化
	関係市町村名	安芸市

事業の概要	<p>「全国商い甲子園」の開催や、チャレンジショップ、中山間の移動販売などの取り組みを進めるとともに、新たな集客イベントや空き店舗対策等を行うことにより、商店街や周辺地域の活性化を促進する。</p>					
事業主体等	<p>【事業主体】 安芸本町商店街振興組合、安芸商工会議所、安芸市</p> <p>【関係機関】</p>					
主な内容・スケジュール	取組手順	事業実施【H29】	1年後【H30】	2年後【H31】	3年後【H32】	4年後【H33以降】
	商店街を中心とする地域の活性化	<p>「全国商い甲子園」等の既存イベントの拡充や情報発信の強化</p> <p>他の団体や学校との連携によるイベントの企画、実施</p> <p>観光資源を活用した観光客の誘致</p>				
指標・目標	商店街への開業の誘致	<p>空き店舗の状況調査、移住対策と連動した空き店舗情報の発信</p> <p>チャレンジショップの取り組み</p>				
	項目	事業実施【H29】	1年後【H30】	2年後【H31】	3年後【H32】	4年後【H33以降】
	新規出店者	1	1	1	計 3	
	【設定根拠】	<p>【推計の考え方】 チャレンジショップ終了者がH31年度まで毎年1名以上が見込まれる。この終了者の安芸本町商店街での開店を目指す。</p>				

総事業費等	総事業費	千円	(うち29年度	千円)
	(内訳 国:	県:	市町村:	その他:)
備考	想定する支援事業(補助金名称、人的支援の内容、その他)	国:	県:	人的支援:
		その他:		

追加項目(案)

【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
<p>11 安芸本町商店街を中心とする地域の活性化 《安芸市》</p>	<p>「全国商い甲子園」の開催や、チャレンジショップ、中山間の移動販売などの取組を進めるとともに、新たな集客イベントや空き店舗対策等を行うことにより、商店街や周辺地域の活性化を促進する。</p>	<p>・安芸本町商店街振興組合 ・安芸商工会議所 ・安芸市</p>	<p>アクションプランの取組開始：H29</p>		<p>◆商店街を中心とする地域の活性化</p> <p>◆商店街への開業の誘致</p>

第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">商店街を中心とする地域の活性化</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-left: 20px;">「全国商い甲子園」等の既存イベントの拡充や情報発信の強化</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-left: 20px;">他の団体や学校との連携によるイベントの企画・実施</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-left: 20px;">観光資源を活用した観光客の誘致</div> </div>					空き店舗等を活用した 新規開業 (H28:1件)	3件(H29～31累 計)
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">商店街への開業の誘致</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-left: 20px;">空き店舗の状況調査、移住対策と連動した空き店舗情報の発信</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-left: 20px;">チャレンジショップの取組</div> </div>						

修正項目(案)

【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
<p>1 ユズを中心とした中山間振興</p> <p>《室戸市、安芸市、奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村》</p>	<p>日本一のユズ産地として、生産性の向上や品質の低下の防止とともに、ユズ果汁等の販路拡大に取り組み、ユズ販売額の向上を図る。</p>	<p>・JA土佐あき ・JA馬路村</p>	<p>アクションプランの取組開始:H21 [JA土佐あき] ・新植、改植の推進への取組(H21~27) ◆県選抜系統を活用した母樹園が設置された(H22) ◆母樹園の優良系統樹から穂木を採取し、苗木業者での育苗が開始された(H27) ・果汁の販売対策として計画的な施設整備(北川村:H21:搾汁施設、H24:果汁殺菌設備)、JA内に販売対策チームの設立(H24) ◆EU向けに青果輸出に取り組み始めた(H24:3t、H25:3t、H26:3t、H27:4t) ◆H24から実施している消費者との交流イベント(収穫祭、料理コンテスト)により、ユズのPRIに繋がっている。</p> <p>[JA馬路村] ・ユズ茶(H21)、化粧品(H22)及びアルミ缶対応ドリンク充填ライン(H26)の加工施設の導入 ◆加工品の販売実績が増加した。 ◆販売拡大に向けて新商品開発が進み、販売に至った(H24:シャーベット2種、ボン酢1種、H25:化粧品3種、ボン酢1種、H26:化粧品2種、調味料3種、H27:化粧品1種、清涼飲料水2種)。 ◆H18から実施している消費者との交流イベント(ゆずはじまる祭)により、ユズ及びユズ関連商品のPRIに繋がっている。</p>	<p>[JA土佐あき] ・青果出荷へのシフト ・隔年結果及び品質低下対策 ・母樹園を活用した優良系統の普及</p> <p>[JA馬路村] ・加工施設の活用による安定した加工品販売及び生産者単価の維持向上</p>	<p>◆新植、改植の推進 [JA土佐あき]</p> <p>◆ユズ果汁等の安定供給と積極的な販路開拓</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">修正前</div>					



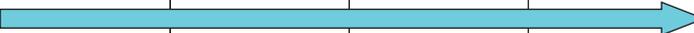
【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
<p>1 ユズを中心とした中山間振興</p> <p>《室戸市、安芸市、奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村》</p>	<p>日本一のユズ産地として、生産性の向上や品質の低下の防止とともに、ユズ果汁等の販路拡大に取り組み、ユズ販売額の向上を図る。</p>	<p>・JA土佐あき ・JA馬路村</p>	<p>アクションプランの取組開始:H21 [JA土佐あき] ・新植、改植の推進への取組(H21~28) ◆県選抜系統を活用した母樹園が設置された(H22) ◆母樹園の優良系統樹から穂木を採取し、苗木業者での育苗が開始された(H27) ・果汁の販売対策として計画的な施設整備(北川村:H21:搾汁施設、H24:果汁殺菌設備)、JA内に販売対策チームの設立(H24) ◆EU向けに青果輸出に取り組み始めた(H24:3t、H25:3t、H26:3t、H27:4t) ◆H24から実施している消費者との交流イベント(収穫祭、料理コンテスト)により、ユズのPRIに繋がっている。</p> <p>[JA馬路村] ・ユズ茶(H21)、化粧品(H22)及びアルミ缶対応ドリンク充填ライン(H26)の加工施設の導入 ◆加工品の販売実績が増加した。 ◆販売拡大に向けて新商品開発が進み、販売に至った(H24:シャーベット2種、ボン酢1種、H25:化粧品3種、ボン酢1種、H26:化粧品2種、調味料3種、H27:化粧品1種、清涼飲料水2種)。 ◆H18から実施している消費者との交流イベント(ゆずはじまる祭)により、ユズ及びユズ関連商品のPRIに繋がっている。</p>	<p>[JA土佐あき] ・青果出荷へのシフト ・隔年結果及び品質低下対策 ・母樹園を活用した優良系統の普及</p> <p>[JA馬路村] ・加工施設の活用による安定した加工品販売及び生産者単価の維持向上</p>	<p>◆新植、改植の推進 [JA土佐あき]</p> <p>◆ユズ果汁等の安定供給と積極的な販路開拓</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">修正後</div>					

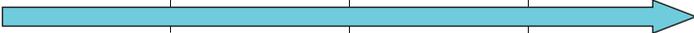
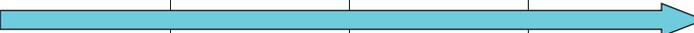
第3期計画					指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	H32以降	指標	目標値(H31)
<p>新植、改植の推進(青果の生産拡大と品質向上、計画的販売の強化)</p> <p>検討会や勉強会の開催による基本技術の徹底</p> <p>産地内の母樹を活用した苗木確保</p> <p>産地内の母樹苗木を活用した計画的な新植・改植の推進</p> <p>ユズを活用した中山間振興策の検討</p>					<p>青果出荷受入量(1月～12月)</p> <p>(H22: 297t)</p> <p>(H23: 370t)</p> <p>(H25: 398t)</p> <p>(H26: 449t)</p>	500t
<p>ユズ果汁等の安定供給と積極的な販路開拓</p> <p>[JA土佐あき]</p> <ul style="list-style-type: none"> 栽培基本技術向上による加工用果皮の出荷拡大と隔年結果の是正による果汁の安定供給 大手飲料メーカー等との契約による販売の安定化 果汁一元化販売の取組による安定した果汁単価の維持 ユズ協業との連携、海外事務所、輸出コーディネーター等の活用による輸出販売の拡大(シンガポール、北米、EU等) <p>[JA馬路村]</p> <p>各施設を活用した加工品生産、加工品開発及び販売拡大への取組</p>					<p>JA土佐あき加工仕向量(1月～12月)</p> <p>(H22: 4,250t)</p> <p>(H26: 4,489t)</p>	5,000t
					<p>JA馬路村加工品販売額(1月～12月)</p> <p>(H21: 21億円)</p> <p>(H26: 32億円)</p>	36億円



第3期計画					指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	H32以降	指標	目標値(H31)
<p>新植、改植の推進(青果の生産拡大と品質向上、計画的販売の強化)</p> <p>検討会や勉強会の開催による基本技術の徹底</p> <p>産地内の母樹を活用した苗木確保</p> <p>産地内の母樹苗木を活用した計画的な新植・改植の推進</p> <p>ユズを活用した中山間振興策の検討</p>					<p>青果出荷受入量(1月～12月)</p> <p>(H22: 297t)</p> <p>(H23: 370t)</p> <p>(H25: 398t)</p> <p>(H26: 449t)</p>	500t
<p>ユズ果汁等の安定供給と積極的な販路開拓</p> <p>[JA土佐あき]</p> <ul style="list-style-type: none"> 栽培基本技術向上による加工用果皮の出荷拡大と隔年結果の是正による果汁の安定供給 大手飲料メーカー等との契約による販売の安定化 果汁一元化販売の取組による安定した果汁単価の維持 ユズ協業との連携、海外事務所、輸出コーディネーター等の活用による輸出販売の拡大(シンガポール、北米、EU等) <p>[JA馬路村]</p> <p>各施設を活用した加工品生産、加工品開発及び販売拡大への取組</p> <p>加工施設の検討</p> <p>加工施設の整備</p>					<p>JA土佐あき加工仕向量(1月～12月)</p> <p>(H22: 4,250t)</p> <p>(H26: 4,489t)</p>	5,000t
					<p>JA馬路村加工品販売額(1月～12月)</p> <p>(H21: 21億円)</p> <p>(H26: 32億円)</p>	36億円

第3期計画				H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31		指標	目標値(H31)
 製塩体験施設の運営体制の整備と誘客増 施設の運営体制の整備、塩づくり体験を取り入れた観光メニューの造成と更なるPRによる誘客増					体験受入回数 (H25:24回)	28回
					受入人数 (H25:体験226人、見学:960人 計1,186人)	体験:271人 見学:1,152人 計 1,423人
 新規就業者の育成に向けた検討・環境整備 方向性の検討 実施方法の検討・関係者間の調整					塩関連での就業者数 (H26:2人)	10人(累計)
 関連産業への波及 農産物等への活用検討、加工品開発の支援、販路拡大の支援						



第3期計画				H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31		指標	目標値(H31)
 製塩体験施設の運営体制の整備と誘客増 施設の運営体制の整備、塩づくり体験を取り入れた観光メニューの造成と更なるPRによる誘客増					体験受入回数 (H25:24回)	28回
					受入人数 (H25:体験226人、見学:960人 計1,186人)	体験:271人 見学:1,152人 計 1,423人
 新規就業者の育成・環境整備 方向性・実施方法の検討 関係者間の調整 施設整備 新規就業者の育成 新規就業者の独立に向けた環境整備の検討、関係者間の調整					塩関連での就業者数 (H26:2人)	10人(累計)
 関連産業への波及 農産物等への活用検討、加工品開発の支援、販路拡大の支援等						

修正項目(案)

【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
21 岩崎弥太郎や地域食材等を活用した観光の推進 《安芸市》	既存の観光資源の磨き上げや、自然・歴史文化等の地域資源を活用した新たな体験プログラムの造成、地域食材を活用したメニューや商品の開発等により観光客の満足度の向上を図り、交流人口の拡大及び観光関連産業の活性化に繋げる。	・安芸市 ・安芸市観光協会 ・漁協 ・伊尾木あなごう保存会 ・内原野陶芸館 ・JA土佐あき ・安芸市観光ボランティアガイドの会 ・廊中ふるさと館 ・メリーガーデン ・はたやま夢楽 ・安芸「釜あげちりめん井」楽会	アクションプランの取組開始:H21 ・土佐龍馬であい博での、ころざし社中開催(H22入場者、113千人、目標100千人) ・H23.3月、安芸観光情報センターの設置 ・岩崎弥太郎像の移転(H26) ・廊中ふるさと館の施設改修(H26) ・安芸観光情報センターの改修(H26) ・内原野陶芸館の改修(H26) ・安芸「釜あげちりめん井」楽会による、ちりめん井の市内外でのPR活動やちりめん井提供店舗拡大の取組(H22～) ◆岩崎弥太郎像の生家周辺への移転や廊中ふるさと館の改修等が行われ、観光に関連した施設等の魅力が向上した。また、H27に行われた「じゃこサミット」(高知東海岸グルメまつり、おさかな祭り、安芸市産業祭と同時開催)には、2日間で延べ約3万人の来場があった。	・体験プログラムの充実 ・市内での滞在時間の延長	◆岩崎弥太郎生家周辺の魅力向上(パワースポットとしての認知度向上) ◆新たな体験プログラムの造成 ◆既存体験プログラムのブラッシュアップ ◆地域食材を活用した商品づくり
修正前					



【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
22 岩崎弥太郎や地域食材等を活用した観光の推進 《安芸市》	既存の観光資源の磨き上げや、自然・歴史文化等の地域資源を活用した新たな体験プログラムの造成、地域食材を活用したメニューや商品の開発等により観光客の満足度の向上を図り、交流人口の拡大及び観光関連産業の活性化に繋げる。	・安芸市 ・安芸市観光協会 ・漁協 ・伊尾木あなごう保存会 ・内原野陶芸館 ・JA土佐あき ・安芸市観光ボランティアガイドの会 ・廊中ふるさと館 ・メリーガーデン ・はたやま夢楽 ・安芸「釜あげちりめん井」楽会 ・道の駅大山	アクションプランの取組開始:H21 ・土佐龍馬であい博での、ころざし社中開催(H22入場者、113千人、目標100千人) ・H23.3月、安芸観光情報センターの設置 ・岩崎弥太郎像の移転(H26) ・廊中ふるさと館の施設改修(H26) ・安芸観光情報センターの改修(H26) ・内原野陶芸館の改修(H26) ・安芸「釜あげちりめん井」楽会による、ちりめん井の市内外でのPR活動やちりめん井提供店舗拡大の取組(H22～) ◆岩崎弥太郎像の生家周辺への移転や廊中ふるさと館の改修等が行われ、観光に関連した施設等の魅力が向上した。また、H27に行われた「じゃこサミット」(高知東海岸グルメまつり、おさかな祭り、安芸市産業祭と同時開催)には、2日間で延べ約3万人の来場があった。	・体験プログラムの充実 ・市内での滞在時間の延長	◆岩崎弥太郎生家周辺や伊尾木洞の魅力向上(パワースポットとしての認知度向上) ◆大山岬(恋人の聖地)と道の駅大山の魅力向上 ◆新たな体験プログラムの造成 ◆既存体験プログラムのブラッシュアップ ◆地域食材を活用した商品づくり
修正後					

第3期計画					指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	H32以降	指標	目標値(H31)
<p>岩崎弥太郎生家周辺の魅力向上(パワースポットとしての認知度向上)</p> <p>パワースポットとしての認知度向上に向けた検討</p> <p>生家周辺の整備(星神社門扉、案内板等)</p>					市内年間観光客数(H26:196,895人)	300,000人
<p>新たな体験プログラムの達成</p> <p>・シラス漁見学等の新たな体験プログラムの達成(体験プログラムについて漁業関係者等との体制構築)</p> <p>・モニターツアーの実施</p> <p>体験プログラムの実施・ブラッシュアップ</p>					市内年間宿泊者数(H22~26平均値:22,721人)	25,000人
<p>既存体験プログラムのブラッシュアップ</p> <p>既存体験プログラムのブラッシュアップ</p>					ちりめん井販売食数(H26:40,846食)	45,000食
<p>地域食材を活用した商品づくり</p> <p>・ナス・ユズ・土佐ジロー・シラス・マンゴーなどの地域食材を活用したメニューや商品の開発</p> <p>・メニューのPR活動(釜あげちりめん井等)</p>						

第3期計画					指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	H32以降	指標	目標値(H31)
<p>岩崎弥太郎生家周辺や伊尾木洞の魅力向上(パワースポットとしての認知度向上)</p> <p>パワースポットとしての認知度向上に向けた検討</p> <p>周辺の整備(星神社門扉、案内板、トイレ改修等)</p>					市内年間観光客数(H26:196,895人)	300,000人
<p>大山岬(恋人の聖地)と道の駅大山の魅力向上</p> <p>大山岬周辺と道の駅の施設整備の検討・実施</p> <p>大山岬(恋人の聖地)の魅力発信(イベントの企画・開催)</p>					市内年間宿泊者数(H22~26平均値:22,721人)	25,000人
<p>新たな体験プログラムの達成</p> <p>・シラス漁見学、果実収穫体験等の新たな体験プログラムの達成(体験プログラムについて関係者等との体制構築)</p> <p>・モニターツアーの実施</p> <p>体験プログラムの実施・ブラッシュアップ</p>					ちりめん井販売食数(H26:40,846食)	50,000食
<p>既存体験プログラムのブラッシュアップ</p> <p>既存体験プログラムのブラッシュアップ</p>						
<p>地域食材を活用した商品づくり</p> <p>・ナス・ユズ・土佐ジロー・シラス・マンゴーなどの地域食材を活用したメニューや商品の開発</p> <p>・メニューのPR活動(釜あげちりめん井等)</p>						

修正項目(案)

【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
<p>22 東洋町における体験観光の推進</p> <p>《東洋町》</p> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">修正前</p>	<p>サーフィンやダイビングなどを中心としたマリンスポーツ等の体験を目的とした修学旅行や企業研修、サークル活動の受入施設を整備するとともに、新たな体験プログラムの開発を行うことにより交流人口の拡大を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・東洋町 ・地元マリンスポーツ関係事業者 ・東洋町観光振興協会 	<p>アクションプランの取組開始：H25</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知県観光拠点整備事業費補助金を活用し、白浜キャンプ場炊事場を整備(H26) ・地域おこし協力隊(観光)1人着任(H26) <p>◆整備対象施設の現況調査により、課題が明確化され、今後の取組の方針決定につながった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域資源を活かした体験プログラムの開発 ・地元事業者(サーフショップ等)との協調 ・受入施設の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ◆海の駅を拠点とした体験観光プログラムの開発 ◆東洋町観光振興協会の体制強化 ◆サーフィン客の拡大に向けた受入体制の強化



【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
<p>23 東洋町における体験型・滞在型観光の推進</p> <p>《東洋町》</p> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">修正後</p>	<p>サーフィンやダイビングなどを中心としたマリンスポーツ等の体験を目的とした修学旅行や企業研修、サークル活動の受入施設を整備するとともに、新たな体験プログラムの開発を行うことにより交流人口の拡大を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・東洋町 ・地元マリンスポーツ関係事業者 ・宿泊事業者 ・東洋町観光振興協会 	<p>アクションプランの取組開始：H25</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知県観光拠点整備事業費補助金を活用し、白浜キャンプ場炊事場を整備(H26) ・地域おこし協力隊(観光)1人着任(H26) <p>◆整備対象施設の現況調査により、課題が明確化され、今後の取組の方針決定につながった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験プログラムの開発(H26～) ・こけら祭りの開催(H26～) ・産振アドバイザー制度の活用(東洋町観光振興協会の課題整理と人材育成など：H27、3回) ・こうちカメラ女子旅in東洋町モニターツアーの実施(1回) ・教育旅行の受入(H28、1回) ・観光アプリの提供開始(H28) 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域資源を活かした体験プログラムの開発 ・地元事業者(サーフショップ等)との協調 ・受入施設の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ◆海の駅を拠点とした体験観光プログラムの開発 ◆東洋町観光振興協会の体制強化 ◆誘客の促進 ◆サーフィン客の拡大に向けた受入体制の強化

第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
					体験者数 (H27:0人)	5,000人	
海の駅を拠点とした体験観光プログラムの開発 海の駅の観光案内窓口の強化 農林漁家民泊の推進		体験プログラムの磨き上げと開発およびガイド育成					
							
東洋町観光振興協会の体制強化 法人化と事務局体制強化 人材育成							
地域の観光情報発信							
							
サーフィン客の拡大に向けた受入体制の強化 アンケート調査 整備内容の検討 施設と備品の整備							



第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
					体験者数 (H27:0人)	5,000人	
海の駅を拠点とした体験観光プログラムの開発 海の駅の観光案内窓口の強化		体験プログラムの磨き上げと開発およびガイド育成					
							
東洋町観光振興協会の体制強化 法人化と事務局体制強化							
人材育成							
							
誘客の促進 農林漁家民泊の推進 魅力的な観光地域づくり、観光情報の発信・プロモーション							
							
サーフィン客の拡大に向けた受入体制の強化 アンケート調査 整備内容の検討 施設と備品の整備							

修正項目(案)

【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
<p>3 やすだ資源を活かした6次産業化事業の推進</p> <p>《安田町》</p> <p style="text-align: center;">修正前</p>	<p>安田町内の地域資源を活かした6次産業化事業を実施し、新商品開発・販路開拓・拡大生産に取り組み、地産外商を推進する。</p> <p>また、マンゴー大福「安田の白い夢」の販路拡大に向け、大都市圏を中心とした販売促進活動に取り組む。これらの取組により安定かつ継続した雇用の創出を目指す。</p>	<p>・安田町 ・生産者 ・製造販売者</p>	<p>アクションプランの取組開始：H24</p> <p>・製造販売拠点「安田(あんた)と夢ファクトリー『キララ』施設整備(H23)、開業(H24)</p> <p>・高知龍馬空港でのキャンペーンの展開(H24)</p> <p>・JAL 麗か四国キャンペーンとのタイアップ(H25)</p> <p>・県外百貨店での高知フェアに出展(H25:銀座三越4月、大阪高島屋5月)</p> <p>・まるごと高知の報告会・商談会へ参加(H24)</p> <p>・まるごと高知での安田町フェアの実施(H26)</p> <p>◆ニッポン全国物産展ご当地おやつランキング5位入賞(H25)、2位受賞(H27)</p> <p>・東部博関連イベント等での販売活動の実施(H27)</p> <p>・年間製造量:34,000個(H26)</p> <p>◆H24に「安田と夢ファクトリー『キララ』を整備し、生産販売拠点ができ、一定雇用は確保しているが、大都市圏での安定した販路の確保には至っていない。</p>	<p>・6次産業化のための加工に適した作物の選定</p> <p>・6次産業化の担い手となる人材の確保</p> <p>・導入した製造機械での「安田の白い夢」の本格生産に向けた新たな販路開拓</p> <p>・「安田の白い夢」の認知度向上に向けた販売促進活動の継続した取組</p>	<p>◆地域資源を活かした6次産業化事業の推進</p> <p>◆「安田の白い夢」の販路の開拓</p>



【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
<p>3 やすだ資源を活かした6次産業化事業の推進</p> <p>《安田町》</p> <p style="text-align: center;">修正後</p>	<p>安田町内の地域資源を活かした6次産業化事業を実施し、新商品開発・販路開拓・拡大生産に取り組み、地産外商を推進する。</p> <p>また、マンゴー大福「安田の白い夢」の販路拡大に向け、大都市圏を中心とした販売促進活動に取り組む。これらの取組により安定かつ継続した雇用の創出を目指す。</p>	<p>・安田町 ・生産者 ・製造販売者</p>	<p>アクションプランの取組開始：H24</p> <p>・製造販売拠点「安田(あんた)と夢ファクトリー『キララ』施設整備(H23)、開業(H24)</p> <p>・高知龍馬空港でのキャンペーンの展開(H24)</p> <p>・JAL 麗か四国キャンペーンとのタイアップ(H25)</p> <p>・県外百貨店での高知フェアに出展(H25:銀座三越4月、大阪高島屋5月)</p> <p>・まるごと高知の報告会・商談会へ参加(H24)</p> <p>・まるごと高知での安田町フェアの実施(H26)</p> <p>◆ニッポン全国物産展ご当地おやつランキング5位入賞(H25)、2位受賞(H27)</p> <p>・東部博関連イベント等での販売活動の実施(H27)</p> <p>・年間製造量:34,000個(H26)</p> <p style="text-align: center;">38,700個(H27)</p> <p>◆H24に「安田と夢ファクトリー『キララ』を整備し、生産販売拠点ができ、一定雇用は確保しているが、大都市圏での安定した販路の確保には至っていない。</p>	<p>・6次産業化のための加工に適した作物の選定</p> <p>・6次産業化の担い手となる人材の確保</p> <p>・導入した製造機械での「安田の白い夢」の本格生産に向けた新たな販路開拓</p> <p>・「安田の白い夢」の認知度向上に向けた販売促進活動の継続した取組</p>	<p>◆地域資源を活かした6次産業化事業の推進</p> <p>◆「安田の白い夢」の販路の開拓</p>

第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
					起業家創出	1社	
地域資源を活かした6次産業化事業の推進 戦略構想計画の策定					企業誘致	1企業	
加工に適した作物の選定							
地域資源を活かした新たな加工品の開発、市場調査、販路開拓							
加工施設整備							
原料増産に向けた取組							
起業家創出、企業誘致に向けた取組							
							
「安田の白い夢」の販路の開拓							
大都市圏を中心とした営業活動の展開による販路の確保							



第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
					起業家創出	1社	
地域資源を活かした6次産業化事業の推進 戦略構想計画の策定					企業誘致	1企業	
加工に適した作物の選定							
地域資源を活かした新たな加工品の開発、市場調査、販路開拓							
加工施設整備							
原料増産に向けた取組							
起業家創出、企業誘致に向けた取組							
							
「安田の白い夢」の販路の開拓							
大都市圏を中心とした営業活動の展開による販路の確保							

修正項目(案)

【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
<p>4 白下糖の生産拡大と新商品の開発</p> <p>《芸西村》</p>	<p>伝統ある芸西村の白下糖の生産を拡大し、白下糖を活用した新商品を開発・販売することにより、白下糖のブランド化を図り、認知度の向上を目指す。</p>	<p>・芸西村 ・芸西村製糖組合 ・生産者グループ</p>	<p>アクションプランの取組開始：H24 ・生産者アンケート調査実施（H24、圃場確認・栽培継続の可否） ・脱葉機導入（H25） ・伝承館改修（製糖体験スペース増築）（H26） ・土壌検査の実施（化学性）（H26） ・栽培暦の作成（H26） ・栽培暦に沿ったサトウキビの試験的栽培（H27） ・サトウキビ買取りの試験的実施（H27） ・土壌検査の実施（物理性）（H27） ・体験メニューの実施（H27） ◆保冷庫を導入したことにより白下糖の品質保持及び年間を通じた販売が可能となった。</p>	<p>・後継者の育成 ・品質の統一化 ・白下糖を活用した新商品の開発 ・販売先の拡大 ・体験メニューの検証と磨き上げ</p>	<p>◆技術を継承する人材の育成</p> <p>◆白下糖の生産量の拡大</p> <p>◆白下糖の品質向上</p> <p>◆白下糖の販路拡大</p> <p>◆新商品の開発</p> <p>◆体験メニューの磨き上げ</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">修正前</div>					



【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
<p>4 白下糖の生産拡大と新商品の開発</p> <p>《芸西村》</p>	<p>伝統ある芸西村の白下糖の生産を拡大し、白下糖を活用した新商品を開発・販売することにより、白下糖のブランド化を図り、認知度の向上を目指す。</p>	<p>・芸西村 ・芸西村製糖組合 ・生産者グループ</p>	<p>アクションプランの取組開始：H24 ・生産者アンケート調査実施（H24、圃場確認・栽培継続の可否） ・脱葉機導入（H25） ・伝承館改修（製糖体験スペース増築）（H26） ・土壌検査の実施（化学性）（H26） ・栽培暦の作成（H26） ・栽培暦に沿ったサトウキビの試験的栽培（H27） ・サトウキビ買取りの試験的実施（H27） ・土壌検査の実施（物理性）（H27） ・体験メニューの実施（H27） ・土壌検査の実施（化学性）（H28） ◆栽培暦の活用により品質の統一化が図られるとともに品質の良い黒糖の製造につながった。</p>	<p>・後継者の育成 ・品質の統一化 ・白下糖を活用した新商品の開発 ・販売先の拡大 ・体験メニューの検証と磨き上げ</p>	<p>◆技術を継承する人材の育成</p> <p>◆白下糖の生産量の拡大</p> <p>◆白下糖の品質向上</p> <p>◆白下糖の販路拡大</p> <p>◆新商品の開発</p> <p>◆体験メニューの磨き上げ</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">修正後</div>					

第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
技術を継承する人材の育成					→	サトウキビ収穫量 (H26:34t)	45t
人材の確保		製造技術の習得、その他関連する研修等への参加					
白下糖の生産量の拡大					→		
遊休農地の有効活用・新規生産者の確保によるサトウキビ作付面積の拡大							
サトウキビの買取り実施							
白下糖の品質向上					→		
栽培層に沿った栽培	栽培層の磨き上げ						
白下糖の販路拡大					→		
テストマーケティング	商品の磨き上げ	商談会や展示会への出展					
新商品の開発					→		
商品検討・試作	試作商品テストマーケティング	試作商品磨き上げ・商品化					
体験メニューの磨き上げ					→		
体験メニューの実施							
検証	磨き上げ	検証	磨き上げ				



第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
技術を継承する人材の育成					→	サトウキビ収穫量 (H26:34t)	45t
人材の確保		製造技術の習得、その他関連する研修等への参加					
白下糖の生産量の拡大					→		
遊休農地の有効活用・新規生産者の確保によるサトウキビ作付面積の拡大							
サトウキビの買取り実施							
白下糖の品質向上					→		
栽培層に沿った栽培	栽培層の磨き上げ等による収穫量の拡大						
白下糖の販路拡大					→		
テストマーケティング	商品の磨き上げ	商談会や展示会への出展					
新商品の開発					→		
商品検討・試作	試作商品テストマーケティング	試作商品磨き上げ・商品化					
体験メニューの磨き上げ					→		
体験メニューの実施							
検証	磨き上げ	検証	磨き上げ				

修正項目(案)

【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
<p>5 土佐備長炭の生産・出荷・販売体制の強化 《室戸市、東洋町》</p> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">修正前</p>	<p>土佐備長炭の生産量の増大と後継者の育成を図ることにより、産地としてのブランド力の向上を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・室戸市木炭振興会 ・<u>室戸木炭生産組合(仮称)</u> ・土佐備長炭生産組合 	<p>アクションプランの取組開始:H21 [室戸市木炭振興会] ・組織化:H19設立 ・施設等整備(H21:研修室2基、H22:研修室1基) ・研修生の受入 (H21:3人、H22:5人、H23:2人、H24:0人、H25:0人、H26:2人、H27:2人) ◆施設整備により、研修生の継続した受入につながっている。</p> <p>[土佐備長炭生産組合] ・組織化:H21設立 ・施設等整備(H21:共同窯2基、H22:共同窯1基、保管庫1棟、H25:共同窯4基、フォークリフト1台) ◆施設整備により月産出荷能力(箱=12kg)が増加した。 (H21:2,150箱、H22:3,425箱、H23:3,548箱、H24:3,670箱、H25:4,190箱、H26:3,630箱)</p> <p>・研修生の受入 (H21:3人、H22:2人、H23:2人、H24:0人、H25:2人、H26:1人、H27:2人)</p> <p>・原木の一括購入と製品の一括出荷(H21~) ◆出荷量の拡大と品質の安定化につながっている。</p> <p>・末端利用者のニーズに対応して、製品規格を10種から19種へ拡大(H21~)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・担い手の育成 ・生産施設等の整備 ・原木の確保 ・経営の強化と安定化 ・ブランド力の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ◆従事者の拡大 ◆生産施設の整備 ◆カシ類原木の活用 ◆大規模所有者からの原木調達 ◆組織力の強化 ◆新商品の開発 ◆生産拠点の拡大に向けた検討



【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
<p>5 土佐備長炭の生産・出荷・販売体制の強化 《室戸市、東洋町》</p> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">修正後</p>	<p>土佐備長炭の生産量の増大と後継者の育成を図ることにより、産地としてのブランド力の向上を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・室戸市木炭振興会 ・<u>土佐備長炭室戸生産組合</u> ・土佐備長炭生産組合 	<p>アクションプランの取組開始:H21 [室戸市木炭振興会] ・組織化:H19設立 ・施設等整備(H21:研修室2基、H22:研修室1基) ・研修生の受入 (H21:3人、H22:5人、H23:2人、H24:0人、H25:0人、H26:2人、H27:2人、<u>H28:2人</u>) ◆施設整備により、研修生の継続した受入につながっている。</p> <p>[土佐備長炭生産組合] ・組織化:H21設立 ・施設等整備(H21:共同窯2基、H22:共同窯1基、保管庫1棟、H25:共同窯4基、フォークリフト1台) ◆施設整備により月産出荷能力(箱=12kg)が増加した。 (H21:2,150箱、H22:3,425箱、H23:3,548箱、H24:3,670箱、H25:4,190箱、H26:3,630箱)</p> <p>・研修生の受入 (H21:3人、H22:2人、H23:2人、H24:0人、H25:2人、H26:1人、H27:2人、<u>H28:2人</u>)</p> <p>・原木の一括購入と製品の一括出荷(H21~) ◆出荷量の拡大と品質の安定化につながっている。</p> <p>・末端利用者のニーズに対応して、製品規格を10種から19種へ拡大(H21~)</p> <p>[土佐備長炭室戸生産組合] ・<u>組織化:H28設立</u></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・担い手の育成 ・生産施設等の整備 ・原木の確保 ・経営の強化と安定化 ・ブランド力の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ◆従事者の拡大 ◆生産施設の整備 ◆カシ類原木の活用 ◆大規模所有者からの原木調達 ◆組織力の強化 ◆新商品の開発 ◆生産拠点の拡大に向けた検討

第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
					出荷量 (H26:1,076t)	1,580t	
従事者の拡大					新規就労者数 (H24~27 11人)	26人(H28~H31 累計)	
		研修生の受入					
					製炭窯設置 (H24~26 増設7基)	21基(H28~H31 累計)	
生産施設の整備				炭窯、保管庫等の設置			
カン類原木の活用							
				製炭技術の改良等			
大規模所有者からの原木調達							
				原木林の共同購入等			
組織力の強化							
				未加入製炭者の組織化、生産者団体の事務局機能の強化等			
新商品の開発							
				ザツ白炭・黒炭の生産、広葉樹原木を活用した商品の生産			
生産拠点の拡大に向けた検討							
				安芸市等東部地域での生産拠点拡大に向けた検討			



第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
					出荷量 (H26:1,076t)	1,580t	
従事者の拡大					新規就労者数 (H24~27 11人)	26人(H28~H31 累計)	
		研修生の受入					
					製炭窯設置 (H24~26 増設7基)	21基(H28~H31 累計)	
生産施設の整備				炭窯、保管庫等の設置			
カン類原木の活用							
				製炭技術の改良等			
大規模所有者からの原木調達							
				原木林の共同購入等			
組織力の強化							
				未加入製炭者の組織化、生産者団体の事務局機能の強化等			
新商品の開発							
				ザツ白炭・黒炭の生産、広葉樹原木を活用した商品の生産			
生産拠点の拡大に向けた検討							
				安芸市等東部地域での生産拠点拡大に向けた検討			

修正項目(案)

【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
<p>8 安芸市のシラス漁業者所得の向上</p> <p>《安芸市》</p> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; border-radius: 10px; width: fit-content; margin: 20px auto;">修正前</p>	<p>平成25年に設立したシラス加工所によるシラス加工処理能力の向上に対応した漁業体制の強化と、シラスの水揚げ量の増加、及び漁家所得の向上を図る。</p>	<p>・安芸漁協 ・(株)安芸水産</p>	<p>アクションプランの取組開始:H21 ・企業、漁協、漁業者による加工処理能力向上に向けた協議(H23) ・シラス加工施設完成(H24) ・地元からの雇用創出(H24～) ◆漁業者・漁協・シラス加工業者との協議を実施した結果、漁業関係者はシラス加工処理能力の向上による水揚げ量の増加、及び漁家所得の向上を希望していることが確認できた。 ◆各種イベントでのPRや直販所での販売を通じて商品の認知度が高まった。</p>	<p>・漁業者、漁協、シラス加工業者による関係者の事業収入向上に向けた取組体制の構築 ・製造・出荷体制の強化、収益性の向上、販路拡大 ・シラス漁の鮮度保持体制の構築</p>	<p>◆シラス加工処理能力の向上に対応した漁業体制の強化 ◆商品力、販売力の強化と新たな販路確保 ◆シラスの鮮度向上</p>



【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
<p>8 安芸市のシラス漁業者所得の向上</p> <p>《安芸市》</p> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; border-radius: 10px; width: fit-content; margin: 20px auto;">修正後</p>	<p>平成25年に設立したシラス加工所によるシラス加工処理能力の向上に対応した漁業体制の強化と、シラスの水揚げ量の増加、及び漁家所得の向上を図る。</p>	<p>・安芸漁協 ・(株)安芸水産</p>	<p>アクションプランの取組開始:H21 ・企業、漁協、漁業者による加工処理能力向上に向けた協議(H23) ・シラス加工施設完成(H24) ・地元からの雇用創出(H24～) ◆漁業者・漁協・シラス加工業者との協議を実施した結果、漁業関係者はシラス加工処理能力の向上による水揚げ量の増加、及び漁家所得の向上を希望していることが確認できた。 ◆各種イベントでのPRや直販所での販売を通じて商品の認知度が高まった。</p>	<p>・漁業者、漁協、シラス加工業者による関係者の事業収入向上に向けた取組体制の構築 ・製造・出荷体制の強化、収益性の向上、販路拡大 ・シラス漁の鮮度保持体制の構築</p>	<p>◆シラス加工処理能力の向上に対応した漁業体制の強化 ◆商品力、販売力の強化と新たな販路確保 ◆シラスの鮮度向上</p>

第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
シラス加工処理能力の向上に対応した漁業体制の強化					→	水揚げ金額 (H26.1月～12月: 201,740千円)	210,000千円
処理能力の向上に対応した漁業体制の強化(関係者間の協議)							
商品力、販売力の強化と新たな販路確保					→	シラス漁獲量 (H26.1月～12月:393t)	420t
製造・出荷体制の強化、販路拡大							
シラスの鮮度向上					→		
・鮮度調査 ・鮮度保持機器の導入に向けた検討			鮮度保持機器の導入				



第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
シラス加工処理能力の向上に対応した漁業体制の強化					→	水揚げ金額 (H26.1月～12月: 201,740千円)	210,000千円
処理能力の向上に対応した漁業者、漁協、加工業者、行政等の連携強化(関係者間の協議)							
商品力、販売力の強化と新たな販路確保					→	シラス漁獲量 (H26.1月～12月:393t)	420t
製造・出荷体制の強化、販路拡大							
シラスの鮮度向上					→		
・鮮度調査 ・鮮度保持機器の導入に向けた検討			鮮度保持機器の導入				

修正項目(案)

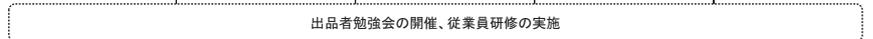
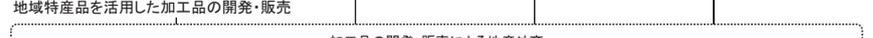
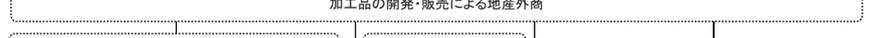
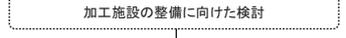
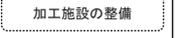
【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
11 海の駅東洋町を拠点とした地域振興 《東洋町》 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">修正前</div>	高知県の東の玄関口である東洋町の観光拠点施設および地元特産品の販売、飲食施設等の機能を持つ「海の駅東洋町」により地域の活性化を図る。	・東洋町 ・東洋町観光振興協会	アクションプランの取組開始: H21 ・H20.1月、海の駅東洋町(木造平屋建、171㎡)開設 来場者: H21、134,896人 H22、153,446人 H23、156,063人 ・H24.7月の火災による焼失のため、産業振興総合補助金を活用しH25.12月再建(木造平屋建、267㎡) ・H26.1月から運営再開 ◆順調に売り上げを伸ばしている。	・運営体制の強化 ・地域産品を活用した加工品の確保 ・観光拠点機能の強化	◆運営体制の強化 ◆地域特産品を活用した加工品の開発・販売

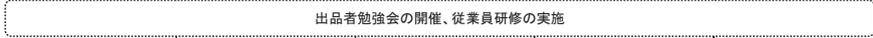
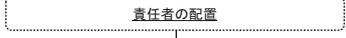
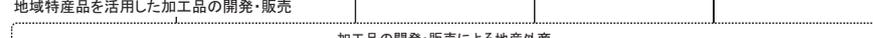
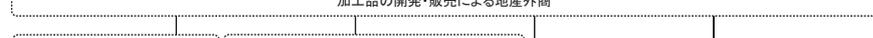
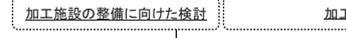
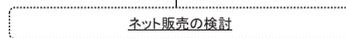
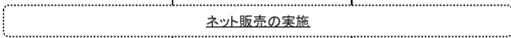


【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
12 海の駅東洋町を拠点とした地域振興 《東洋町》 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">修正後</div>	高知県の東の玄関口である東洋町の観光拠点施設および地元特産品の販売、飲食施設等の機能を持つ「海の駅東洋町」により地域の活性化を図る。	・東洋町 ・東洋町観光振興協会	アクションプランの取組開始: H21 ・H20.1月、海の駅東洋町(木造平屋建、171㎡)開設 ・H24.7月の火災による焼失のため、産業振興総合補助金を活用しH25.12月再建(木造平屋建、267㎡) ・H26.1月から運営再開 ◆順調に売り上げを伸ばしている。 売上高 H27-161,151千円 来場者 H27-174,122人 ・教育旅行の受入(H28、1回) ・直販所支援アドバイザー派遣制度の活用(H28、接遇マナーとPOP作成研修)	・運営体制の強化 ・地域産品を活用した加工品の確保 ・観光拠点機能の強化	◆運営体制の強化 ◆地域特産品を活用した加工品の開発・販売

第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
					売上高 (H22: 133,765千円) (H26: 141,938千円)	168,990千円	
					来場者数 (H22: 153,446人) (H26: 157,790人)	180,000人	
							
							
							
							
 							
 							



第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
					売上高 (H22: 133,765千円) (H26: 141,938千円)	168,990千円	
					来場者数 (H22: 153,446人) (H26: 157,790人)	180,000人	
							
							
							
							
 							
 							

第3期計画					H32以降	指標及び目標		
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)		
加工施設の整備					→	売上高 (H26:0千円)	20,000千円	
施設整備の検討		施設整備		加工体制の強化				
原料確保の強化								
商品開発と販路拡大					→			
新商品開発		商品のブラッシュアップ						
販促ソールの作成		販路開拓とブランド化に向けた取組						



第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
加工施設の整備					→	売上高 (H26:0千円)	20,000千円
施設整備の検討・整備		加工体制の強化					
原料確保の強化							
商品開発と販路拡大					→		
新商品開発		商品のブラッシュアップ					
販促ソールの作成		販路開拓とブランド化に向けた取組					

第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
商品づくり					JA加工施設(奈半利味噌)の売上高 (H26:5,140千円)	9,120千円	
アドバイザーの活用等による加工商品の磨き上げ							
販売ルートの開拓					農水産加工施設の売上高 (H26:0千円)	9,000千円	
新商品の開発							
運営体制の強化					水産加工施設の売上高 (H26:3,220千円)	12,000千円	
人材育成事業の実施							
なんでも市加工グループ法人化							
奈半利のおかってグループ法人化							
加領郷魚舎グループ法人化							
後継者の確保及び育成							



第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
商品づくり					JA加工施設(奈半利味噌)の売上高 (H26:5,140千円)	9,120千円	
アドバイザーの活用等による加工商品の磨き上げ							
販売ルートの開拓					農水産加工施設の売上高 (H26:0千円)	9,000千円	
新商品の開発							
運営体制の強化					水産加工施設の売上高 (H26:3,220千円)	12,000千円	
人材育成事業の実施							
なんでも市加工グループ法人化等の検討							
NCL48の運営体制の整備(法人化等の検討)							
漁協女性グループの運営体制の整備(法人化等の検討)							
後継者の確保及び育成							

第3期計画				H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31		指標	目標値(H31)
機能強化・小さな拠点化のための施設整備等					年間売上高(1月～12月) (H26: 258,729千円)	400,000千円
今後のあり方検討 基本計画の策定 関係者間の協議	実施計画の策定	具体的な準備・実施			年間入込数(1月～12月) (H26: 221千人)	265千人
直販・飲食機能の強化						
課題の洗い出しと改善の取組						
人材育成(スキルアップ研修、先進地視察等)						
情報発信機能の強化・交流人口の拡大						
顧客のニーズ把握とインターネット・ガイドマップ等を活用した情報発信						
観光・宿泊施設との連携による情報の共有と誘客及び交流人口拡大のための取組						
人材育成(OJTによる育成、先進地視察等)						
加工品の開発・販売の強化						
加工品開発・販売に向けた態勢づくりと人材育成						
素材の掘り起こし、生産者と連携した加工品づくり						



第3期計画				H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31		指標	目標値(H31)
機能強化・小さな拠点化のための施設整備等					年間売上高(1月～12月) (H26: 258,729千円)	400,000千円
・今後のあり方検討 ・基本計画の策定 ・関係者間の協議	・実施計画の策定	・具体的な準備	事業実施		年間入込数(1月～12月) (H26: 221千人)	265千人
直販・飲食機能の強化						
課題の洗い出しと改善						
人材育成(スキルアップ研修、先進地視察等)						
情報発信機能の強化・交流人口の拡大						
顧客のニーズ把握とインターネット・ガイドマップ等を活用した情報発信						
観光・宿泊施設との連携による情報の共有と誘客及び交流人口拡大のための取組						
人材育成(OJTによる育成、先進地視察等)						
加工品の開発・販売の強化						
加工品開発・販売に向けた態勢づくりと人材育成						
素材の掘り起こし、生産者と連携した加工品づくり						

修正項目(案)

【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
16 地場産品直販所「かっぱ市」による地域活性化 《芸西村》	地場産品直販所「かっぱ市」において、安定供給の仕組みを作るとともに、芸西村に開所する集落活動センターと連携し、新商品開発や販路開拓等の外商活動に取り組むことにより、地域経済の活性化につなげる。	・芸西村 ・(有)かっぱ市 ・生産者グループ	アクションプランの取組開始：H22 ・H23.10月に産業振興総合補助金を活用しリニューアルオープン(H23) ・店内調理場での弁当等加工品の販売開始(H24.10月～) ・産振アドバイザーの助言による既存商品及び売り場の改善(H25) ・新商品「黒みつ」の販売と、黒みつを使用したかき氷の販売開始(H26) ・店内にイートインコーナー設置(H26) ・東京のアンテナショップ視察研修(H26) ・集荷システムの構築についての検討開始(H27) ・野菜ソムリエ取得講習受講(H27) ◆積極的な研修への参加や活動計画の作成によりサービス向上が図られ、売上増加につながった。	・商品集荷システムの構築による商品不足の解消 ・新商品の開発 ・集落活動センターとの連携	◆安定供給の仕組みづくり ◆新商品の企画開発及び集落活動センターと連携した外商活動 ◆地域観光情報の発信 ◆体験メニューの開発・実施
修正前					



【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
17 地場産品直販所「かっぱ市」による地域活性化 《芸西村》	地場産品直販所「かっぱ市」において、安定供給の仕組みを作るとともに、芸西村に開所する集落活動センターと連携し、新商品開発や販路開拓等の外商活動に取り組むことにより、地域経済の活性化につなげる。	・芸西村 ・(有)かっぱ市 ・生産者グループ	アクションプランの取組開始：H22 ・H23.10月に産業振興総合補助金を活用しリニューアルオープン(H23) ・店内調理場での弁当等加工品の販売開始(H24.10月～) ・産振アドバイザーの助言による既存商品及び売り場の改善(H25) ・新商品「黒みつ」の販売と、黒みつを使用したかき氷の販売開始(H26) ・店内にイートインコーナー設置(H26) ・東京のアンテナショップ視察研修(H26) ・集荷システムの構築についての検討開始(H27) ・野菜ソムリエ取得講習受講(H27) ・HACCP研修の受講(H28) ◆商品パッケージのリニューアル等により売上が増加した。	・商品集荷システムの構築による商品不足の解消 ・新商品の開発 ・集落活動センターとの連携	◆安定供給の仕組みづくり ◆新商品の企画開発及び集落活動センターと連携した外商活動 ◆地域観光情報の発信 ◆体験メニューの開発・実施
修正後					

第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
安定供給の仕組みづくり 集荷システムの検討・営業 時間の検討、試験的实施	見直し・本格的実施開始				売上高 (H22: 87,000千円) (H26: 135,000千円)	200,000千円	
新商品の企画開発及び集落活動センターと連携した外商活動 検討・試作・テストマーケ ティング	商品化・販売開始	商談会や展示会への出展					
地域観光情報の発信 ホームページ等の整備	ホームページやfacebookでの情報発信・パンフレット設置コーナーの充実						
体験メニューの開発・実施	体験メニューの開発						
体験メニューの実施							
検証	磨き上げ	検証	磨き上げ				



第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
安定供給の仕組みづくり 集荷システムの検討・営業 時間の検討、試験的实施	見直し・本格的実施				売上高 (H22: 87,000千円) (H26: 135,000千円)	200,000千円	
新商品の企画開発及び集落活動センターと連携した外商活動 検討・試作・テストマーケ ティング	商品化・販売開始	商談会や展示会への出展					
地域観光情報の発信 ホームページ等の整備	ホームページやfacebookでの情報発信・パンフレット設置コーナーの充実						
体験メニューの開発・実施	体験メニューの開発						
体験メニューの実施							
検証	磨き上げ	検証	磨き上げ				

第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
策定した広域観光組織の事業計画(3か年)に基づく基盤整備等の実施 旅行業の取得 マーケティング調査及び分析の実施並びに調査結果に基づく観光戦略づくり					圏内主要施設訪問者数(圏内観光施設、体験プログラム、直販施設及びイベント集客数)(1月~12月) (H27:2,401,821人)	2,606,000人	
観光協会等の機能強化と広域観光組織との連携 観光協会等の機能強化							
戦略的な広報・PR活動の展開 東部地域のホームページ作 旅行エージェント、マスコミ等への戦略的な広報活動の展開及びホームページ、パンフレット等による観光情報の発信強化					圏内宿泊者数(1月~12月) (H27:138,229人)	150,000人	
観光クラスターの整備に向けた観光資源の組み合わせによる周遊観光の商品化や観光拠点等の磨き上げ 観光拠点等の磨き上げ <室戸・東洋エリア> 空戸ジオパーク、生見・白浜海岸・吉良川町並みなど <中芸エリア> モネの庭・魚梁瀬森林鉄道遺産、中岡悞太郎館、奈半利海浜センター、安田まちなみ交流館・和、唐浜食わず貝、塩づくり体験ハウス、藤村製紙記念館など <安芸・芸西エリア> 岩崎弥太郎生家、土居蘭中、野良時計、伝承館、琴ヶ浜など 周遊観光の商品化や体験プログラムの磨き上げ							
教育旅行の受入体制の強化、スポーツツーリズムの推進及びインバウンド対策の実施 教育旅行の受入体制の強化による誘客の推進 地域内スポーツ拠点施設等を活用した大会や合宿等の誘致と施設整備 民泊の推進、人材の養成、インバウンド対策など受入体制の整備							



第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
東部観光協議会の事業計画(3か年)に基づく基盤整備等の実施 旅行業の登録 マーケティング調査及び分析の実施並びに調査結果に基づく観光戦略づくり マーケティング調査の継続実施及び観光戦略の実施					圏内主要施設訪問者数(圏内観光施設、体験プログラム、直販施設及びイベント集客数)(1月~12月) (H27:2,401,821人)	2,606,000人	
観光協会等の機能強化と東部観光協議会との連携 観光協会等の機能強化・情報共有会議の継続開催による役割分担の明確化及び目標の共有							
戦略的な広報・PR活動の展開 東部地域のホームページ作成 旅行エージェント、マスコミ等への戦略的な広報活動の展開及びホームページ、パンフレット等による観光情報の発信強化					圏内宿泊者数(1月~12月) (H27:138,229人)	150,000人	
着地型商品の造成・販売 旅行業の登録 体験プログラムの磨き上げやマーケティング調査結果を活用した東部地域での周遊観光の商品化及び東部地域での観光クラスターづくりへの支援							
教育旅行の受入体制の強化、スポーツツーリズムの推進及びインバウンド対策の実施 教育旅行の受入体制の強化による誘客の推進 地域内スポーツ拠点施設等を活用した大会や合宿等の誘致と施設整備 民泊の推進、人材の養成、インバウンド対策など受入体制の整備							

修正項目(案)

【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
18 魚梁瀬森林鉄道遺産を活用した交流人口の拡大 《奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村》 修正前	森林鉄道遺産(産業遺産、森の仕事、当時の生活文化等)を中芸地区の新しい地域資源(地域遺産)ととらえ、一般層の利用も視野に入れた活用に取り組み、地域連携を通して、交流人口の拡大や文化活動の促進を図る。	・奈半利町 ・田野町 ・安田町 ・北川村 ・馬路村 ・中芸地区森林鉄道遺産を保存・活用する会	アクションプランの取組開始:H21 ・旅行会社等によるツアーの催行(H22~) ・案内看板、遊歩道、駐車場の設置(H21~23) ・観光用ビデオの作成(H22) ・開通100周年事業の実施(H23~H24) ・ガイドの育成27人(H21~23) ・旧魚梁瀬森林鉄道施設保存活用計画策定協議会の設置(H25) ・中芸地区森林鉄道遺産を保存・活用する会の自主的な活動の充実(H25) ・東部博関連イベントとして魚梁瀬森林鉄道ジオラマ展及びアート&ライブの実施(H27) ◆魚梁瀬森林鉄道に係る様々なイベントや研究活動等がなされており、林鉄ガイドも中芸地域の体験型観光の一つとして定着している。	・高知家まるごと東部博の成果を活かした更なる情報発信 ・5カ町村の整備・活用に向けた推進体制、仕組みづくり	◆遺産の活用と普及啓発活動 ◆保存活用計画策定後の整備、活用に向けた組織体制及び活用策の検討



【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
19 魚梁瀬森林鉄道遺産を活用した交流人口の拡大 《奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村》 修正後	森林鉄道遺産(産業遺産、森の仕事、当時の生活文化等)を中芸地区の新しい地域資源(地域遺産)ととらえ、一般層の利用も視野に入れた活用に取り組み、地域連携を通して、交流人口の拡大や文化活動の促進を図る。	・奈半利町 ・田野町 ・安田町 ・北川村 ・馬路村 ・中芸地区森林鉄道遺産を保存・活用する会 ・ <u>「魚梁瀬森林鉄道」日本遺産推進協議会</u>	アクションプランの取組開始:H21 ・旅行会社等によるツアーの催行(H22~) ・案内看板、遊歩道、駐車場の設置(H21~23) ・観光用ビデオの作成(H22) ・開通100周年事業の実施(H23~24) ・ガイドの育成27人(H21~23) ・旧魚梁瀬森林鉄道施設保存活用計画策定協議会の設置(H25) ・中芸地区森林鉄道遺産を保存・活用する会の自主的な活動の充実(H25) ・東部博関連イベントとして魚梁瀬森林鉄道ジオラマ展及びアート&ライブの実施(H27) ・ <u>保存活用計画策定(H27)</u> ・ <u>日本遺産申請に向けた中芸5町村、地域団体、大学等による「魚梁瀬森林鉄道」日本遺産推進協議会の設立(H28)</u> ・ <u>「魚梁瀬森林鉄道」日本遺産推進協議会による日本遺産認定申請(H28)</u> ◆魚梁瀬森林鉄道に係る様々なイベントや研究活動等がなされており、林鉄ガイドも中芸地域の体験型観光の一つとして定着している。	・高知家まるごと東部博の成果を活かした更なる情報発信 ・5カ町村の整備・活用に向けた推進体制、仕組みづくり	◆遺産の活用と普及啓発活動 ◆保存活用計画策定後の整備及び活用策の検討

第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
遺産の活用と普及啓発活動					→	ツアー等による林鉄ガイド実績 (H26:846人)	1,500人
魚梁瀬森林鉄道ジオラマを活用した拠点づくりの検討	拠点施設整備	魚梁瀬森林鉄道ジオラマを活用した交流人口の拡大に向けた取組				拠点施設年間来館者数 (H26:0人)	1,000人
遺構見学ツアー等の実施と森林鉄道のネットワークを活用した普及・啓発活動							
大学連携事業を契機とした全国に向けた情報発信の取組							
保存活用計画策定後の整備、活用に向けた組織体制及び活用策の検討							
計画に基づく施設整備等、保存と活用を支える仕組みづくり							



第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
遺産の活用と普及啓発活動					→	ツアー等による林鉄ガイド実績 (H26:846人)	1,500人
魚梁瀬森林鉄道ジオラマを活用した拠点づくりの検討	拠点施設整備	魚梁瀬森林鉄道ジオラマを活用した交流人口の拡大に向けた取組				拠点施設年間来館者数 (H26:0人)	1,000人
遺構見学ツアー等の実施と森林鉄道のネットワークを活用した普及・啓発活動							
大学連携事業を契機とした全国に向けた情報発信の取組							
日本遺産認定申請に向けた取組	日本遺産認定後の活用						
保存活用計画策定後の整備及び活用策の検討							
計画に基づく施設整備等、保存と活用を支える仕組みづくり							

修正項目(案)

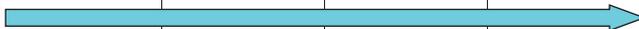
【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
19 世界ジオパーク認証を活かした観光の振興 《室戸市》	世界ジオパークに認証された室戸ジオサイトにおける受入体制の整備や旅行商品開発に取り組み交流人口の拡大を図る。	・室戸市 ・室戸ジオパーク推進協議会 ・室戸市観光協会	アクションプランの取組開始:H21 ・看板や遊歩道、駐車場などの環境整備(H21~27) ・ガイド養成講座等の実施(H21~27) ・世界ジオパーク認証(H23) ・日本ジオパーク全国大会の開催(H24) ・室戸世界ジオパークセンターの整備(H25~26) ・室戸世界ジオパークセンターオープン(H27) ・世界ジオパーク再認定(H27) ◆日本ジオパーク全国大会(参加者:約2,200人)を開催し、宿泊・食事利用等の経済効果や地域住民との連携が図られるとともに、室戸ジオパークの理解が促進された。 また、ジオパークの拠点となる「室戸世界ジオパークセンター」の整備により、受入体制が強化された。	・受入体制の強化 ・ジオパークセンターの整備 ・ジオサイトの見直し	◆ガイド育成 ◆ジオツアー・体験プログラムの推進 ◆情報発信、国際交流 ◆ジオパークセンターの整備 ◆サイト整備
修正前					

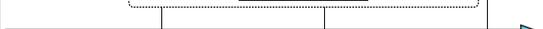


【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
20 世界ジオパーク認証を活かした観光の振興 《室戸市》	世界ジオパークに認証された室戸ジオサイトにおける受入体制の整備や旅行商品開発に取り組み交流人口の拡大を図る。	・室戸市 ・室戸ジオパーク推進協議会 ・室戸市観光協会	アクションプランの取組開始:H21 ・看板や遊歩道、駐車場などの環境整備(H21~27) ・ガイド養成講座等の実施(H21~27) ・世界ジオパーク認証(H23) ・日本ジオパーク全国大会の開催(H24) ・室戸世界ジオパークセンターの整備(H25~26) ・室戸世界ジオパークセンターオープン(H27) ・世界ジオパーク再認定(H27) ◆日本ジオパーク全国大会(参加者:約2,200人)を開催し、宿泊・食事利用等の経済効果や地域住民との連携が図られるとともに、室戸ジオパークの理解が促進された。 また、ジオパークの拠点となる「室戸世界ジオパークセンター」の整備により、受入体制が強化された。 ジオパークガイド利用者数 H27: 15,868人 室戸世界ジオパークセンター来場者数 H27: 103,065人 ・観光アドバイザーによる館内ガイド接遇研修実施(H28) ・土佐の観光創生塾に参加(H27: 5人)	・受入体制の強化 ・ジオパークセンターの整備 ・ジオサイトの見直し	◆ガイド育成 ◆ジオツアー・体験プログラムの推進 ◆情報発信、国際交流 ◆ジオパークセンターの整備 ◆サイト整備
修正後					

第3期計画					指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	H32以降	指標	目標値(H31)
					ジオパークガイド利用者数 (H26:7,869人)	10,000人
ガイド研修(登録ガイド数の増加・外国語対応ガイドの育成)						
					室戸世界ジオパークセンター入館者数 (H26:0人)	70,000人
既存ジオツアー・体験プログラムのブラッシュアップ						
ジョツアー・体験プログラムの開発・実施						
ジオパークセンターを発着地としたジオツアーの開発						
						
日本ジオパーク再審査					世界ジオパーク再審査	
全国大会及び国際会議でのPR・イベントの開催						
主要パンフレット等の更新・多言語化						
						
ジオパークセンターの整備						
遊休地の利活用検討・整備						
体育館・プールの利活用検討					体育館・プールの整備	
展示内容のリニューアル						
						
サイト整備						
既存ジオサイトの見直し・新規ジオサイトの検討						
ジオサイトの再整備						



第3期計画					指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	H32以降	指標	目標値(H31)
					ジオパークガイド利用者数 (H26:7,869人)	10,000人
ガイド研修(登録ガイド数の増加・外国語対応ガイドの育成)						
					室戸世界ジオパークセンター入館者数 (H26:0人)	70,000人
既存ジオツアー・体験プログラムのブラッシュアップ						
ジョツアー・体験プログラムの開発・実施						
ジオパークセンターを発着地としたジオツアーの開発						
						
日本ジオパーク再審査					世界ジオパーク再審査	
全国大会及び国際会議でのPR・イベントの開催						
主要パンフレット等の更新・多言語化						
						
ジオパークセンターの整備						
遊休地の利活用検討・整備						
体育館・プールの利活用検討					体育館・プールの整備	
展示内容のリニューアル						
						
サイト整備						
既存ジオサイトの見直し・新規ジオサイトの検討						
ジオサイトの再整備						

第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
室戸ドルフィンセンターの広報・営業力強化 体制強化と人材育成 新規プログラムの開発 オリジナルグッズの開発 施設の磨き上げ					室戸ドルフィンセンター来場者数 (H22: 22,181人) (H26: 24,431人)	31,000人	
室戸黒潮協同組合(ちばうま八、くじらはま)の機能強化 教育旅行の受入 魅力ある店舗づくりと広報・宣伝活動							
「貝類等収獲体験」の施設整備 施設整備に向けた検討 施設整備 規模拡大に向けた検討 体験プログラムの実施と広報・宣伝活動							
ダイビング事業展開に向けた施設整備等 施設整備の検討 施設整備 漁業関係者との調整 テナント募集・広報 運営体制の検討 ダイビング事業実施 ダイビングショップへの情報発信							



第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
室戸ドルフィンセンターの広報・営業力強化 体制強化と人材育成 新規プログラムの開発 オリジナルグッズの開発 施設の磨き上げ					室戸ドルフィンセンター来場者数 (H22: 22,181人) (H26: 24,431人)	31,000人	
室戸黒潮協同組合(ちばうま八、くじらはま)の機能強化 教育旅行の受入 魅力ある店舗づくりと広報・宣伝活動							
「貝類等収獲体験」の施設整備 施設整備に向けた検討 施設整備 規模拡大に向けた検討 体験プログラムの実施と広報・宣伝活動							
ダイビング事業展開に向けた施設整備等 施設整備の検討 施設整備 関係者との調整 テナント募集・広報 運営体制の検討 ダイビング事業実施 ダイビングショップへの情報発信(ダイビングスポット)							

修正項目(案)

【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
23 藤村製絲を活用した観光振興 《奈半利町》	藤村製絲記念館を活用した観光振興に取り組むことにより、交流人口の拡大を図る。	・藤村製系(株) ・奈半利町 ・なはり観光文化協会	アクションプランの取組開始・H26 ・高知県観光拠点等整備事業費補助金を活用し、観光拠点施設となる藤村製絲記念館を建設(H26)	・藤村製絲記念館の活用拡大 ・関係機関との連携 ・広報等の強化	◆記念館の活用拡大
修正前					



【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
24 藤村製絲を活用した観光振興 《奈半利町》	藤村製絲記念館を活用した観光振興に取り組むことにより、交流人口の拡大を図る。	・藤村製系(株) ・奈半利町 ・(一社)なはりの郷	アクションプランの取組開始・H26 ・高知県観光拠点等整備事業費補助金を活用し、観光拠点施設となる藤村製絲記念館を建設(H26) ・奈半利町集落活動センター(なはりの郷)が事業主体となり、高知県観光拠点等整備事業費補助金を活用し、新たに観光案内看板、観光ガイドブック、町歩きマップ、展示用パネルを整備(H28)	・藤村製絲記念館の活用拡大 ・関係機関との連携 ・広報等の強化	◆記念館の活用拡大
修正後					

第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
記念館の活用拡大					→	来館者数(1月～12月) (H26:0人)	1,500人
観光資源としての磨き上げ		新たな広域観光組織等と連携した誘客活動の強化					
町内ガイド組織との連携		町並みガイド等での活用拡大					
観光パンフレットの作成やホームページ等による情報発信の強化							



第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
記念館の活用拡大					→	来館者数(1月～12月) (H26:0人)	1,500人
観光資源としての磨き上げ		(一社)高知県東部観光協議会等と連携した誘客活動の強化					
町内ガイド組織との連携		町並みガイド等での活用拡大					
住民とのワークショップによる観光施策の検討		観光パンフレットの作成やホームページ等による情報発信の強化					

修正項目(案)

【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
24 北川村観光3施設の誘客強化による交流人口の拡大 《北川村》	北川村温泉、北川村「モネの庭」マルモッタン及び中岡慎太郎関連施設の北川村観光3施設で実施するイベントの開催に関する広告宣伝や営業活動の強化等に取り組みることにより、集客力を高め、交流人口の拡大を図る。	・北川村 ・(株)きたがわジャルダン ・北川村観光協会 ・中岡慎太郎先生顕彰会	【北川村「モネの庭」マルモッタン】 アクションプランの取組開始：H23年度 ・旧ワイナリーを多目的ホールへ改修(H22) ・TVや専門誌等様々な広告媒体を用いたPR(H22～23) ・経営コンサルタントのアドバイスを受けたコスト削減への取組(H23～) ・庭園整備(H22、H23) ・新支配人の着任(H25) ・接客アドバイザーによる接客マナー研修の実施(H25～) ◆入園者数(決算期の毎年2月から翌年1月までの年間入園者数) H21.2～H22.1 60,040人 H22.2～H23.1 53,369人 H23.2～H24.1 59,101人 H24.2～H25.1 55,288人 H25.2～H26.1 56,281人 H26.2～H27.1 54,115人 H27.2～H28.1 66,533人 【北川村温泉】 アクションプランの取組開始：H26年度 ・北川村温泉リニューアル基本計画策定(H25) ・基本設計及び実施設計(H26) ・北川村温泉改修工事のため閉館(H27.8月～)	・東部博終了を踏まえた誘客対策の強化 ・県外での認知度の向上 ・外国人観光客の受入態勢の強化 ・3施設の連携強化	◆高知県内を中心に日帰り可能地域を対象とした広告宣伝と営業活動 ◆3施設の連携強化、各施設の磨き上げ ◆観光拠点としての温泉施設の整備 ◆県博覧会と連携した中岡慎太郎関連施設の集客の拡大

修正前



【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
25 北川村観光3施設の誘客強化による交流人口の拡大 《北川村》	北川村温泉、北川村「モネの庭」マルモッタン及び中岡慎太郎関連施設の北川村観光3施設で実施するイベントの開催に関する広告宣伝や営業活動の強化等に取り組みることにより、集客力を高め、交流人口の拡大を図る。	・北川村 ・(株)きたがわジャルダン ・北川村観光協会 ・NPO法人中岡慎太郎先生顕彰会	【北川村「モネの庭」マルモッタン】 アクションプランの取組開始：H23年度 ・旧ワイナリーを多目的ホールへ改修(H22) ・TVや専門誌等様々な広告媒体を用いたPR(H22～23) ・経営コンサルタントのアドバイスを受けたコスト削減への取組(H23～) ・庭園整備(H22、H23) ・接客アドバイザーによる接客マナー研修の実施(H25～) ・産業振興アドバイザー制度の活用(H28、飲食施設の再建、魅力向上) ・モネレストランリニューアルオープン(H28) ◆入園者数(決算期の毎年2月から翌年1月までの年間入園者数) H21.2～H22.1 60,040人 H22.2～H23.1 53,369人 H23.2～H24.1 59,101人 H24.2～H25.1 55,288人 H25.2～H26.1 56,281人 H26.2～H27.1 54,115人 H27.2～H28.1 66,533人 H28.2～H28.11 57,247人 【北川村温泉】 アクションプランの取組開始：H26年度 ・北川村温泉リニューアル基本計画策定(H25) ・基本設計及び実施設計(H26) ・北川村温泉改修工事のため閉館(H27.8月～) 【中岡慎太郎関連施設】 ・産業振興アドバイザー制度の活用(H28、観光ガイドやイベント企画など)	・東部博終了を踏まえた誘客対策の強化 ・県外での認知度の向上 ・外国人観光客の受入態勢の強化 ・3施設の連携強化	◆3施設のターゲットに応じたプロモーション活動 ◆3施設の連携強化、各施設の磨き上げ ◆温泉施設の整備及び利活用

修正後

第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
<p>高知県内を中心に日帰り可能地域を対象とした広告宣伝と営業活動</p> <p>マスコミへの情報提供、タウン誌やパンフレット、ロコミ等を使った広告営業活動</p> <p>各施設イベントの充実や3施設での連携イベントの企画、開催</p>					<p>各施設入園(館)者 合計数 (H26:80,983人) ※内訳 モネの庭 53,174人 (H26.4~H27.3) 北川村温泉 21,682人 中岡慎太郎館 6,127人</p>	<p>100,000人 ※内訳 モネの庭 65,000人 北川村温泉 28,000人 中岡慎太郎館 7,000人</p>	
<p>3施設の連携強化、各施設の磨き上げ</p> <p>観光クラスター整備による3施設連携強化</p> <p>外国人観光客対応等各施設の課題に向けた取組(wi-fi整備、多言語看板の整備)</p>							
<p>観光拠点としての温泉施設の整備</p> <p>温泉施設の整備</p> <p>観光拠点施設としての集客の取組</p>							
<p>県博覧会と連携した中岡慎太郎関連施設の集客の拡大</p> <p>年2~3回の企画展の開催、企画展に付随した講演会の開催</p> <p>博覧会との連携(サテライト会場)</p>							



第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
<p>3施設のターゲットに応じたプロモーション活動</p> <p>ターゲット(エリア別、属性、季節別)に応じたプロモーション方法の検討</p> <p>ターゲット別プロモーション活動の展開 (マスコミ、タウン誌、ロコミ、SNS、ブローガー、レストランなどの活用)</p>					<p>各施設入園(館)者 合計数 (H26:80,983人) ※内訳 モネの庭 53,174人 (H26.4~H27.3) 北川村温泉 21,682人 中岡慎太郎館 6,127人</p>	<p>108,000人 ※内訳 モネの庭 70,000人 北川村温泉 28,000人 中岡慎太郎館 10,000人</p>	
<p>3施設の連携強化、各施設の磨き上げ</p> <p>3施設の周遊の仕組みづくりの検討 (周遊マップの作成、レンタサイクル、スタンブラー等「志国高知 暮末維新博」と連携したイベントの開催)</p> <p>3施設の周遊の仕組みの実践と磨き上げ (実施→課題の洗い出し→磨き上げ)</p> <p>モネ開園20周年に向けたPR施策づくり</p> <p>モネ開園20周年イベントの開催(H32)</p>							
<p>外国人観光客受入促進のための施設整備等 (Wi-Fi整備、多言語看板の整備等)</p>							
<p>温泉施設の整備及び利用</p> <p>実施設計</p> <p>施設の整備</p> <p>集客に向けた取組 (リニューアルオープン告知、パンフレットの作成、施設周辺での体験プログラムの提供など)</p>							

修正項目(案)

【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
25 旧椎名小学校を活用した地域振興 《室戸市》	旧椎名小学校の改修にあわせてミニ水族館、標本などの模型の展示、魚さばき体験スペースなどを整備するとともに、住民主体の活動を促進し、地域の課題解決や交流人口の拡大を図るため集落活動センター設置に向けて取り組む。	・室戸市 ・地域住民団体(椎名常会) ・椎名大敷組合	アクションプランの取組開始:H27 ・椎名小学校利活用検討委員会(3回) ・地元説明会(H27.9.10)	・施設の利活用及び運営体制の検討 ・ウミガメ協議会や椎名大敷組合との連携 ・住民の組織づくり ・外部人材の活用	◆施設整備 ◆集落活動センターの設置 ◆情報発信

修正前



【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
26 旧椎名小学校を活用した地域振興 《室戸市》	旧椎名小学校の改修にあわせてミニ水族館、標本などの模型の展示、魚さばき体験スペースなどを整備するとともに、住民主体の活動を促進し、地域の課題解決や交流人口の拡大を図るため集落活動センター設置に向けて取り組む。	・室戸市 ・地域住民団体(椎名常会) ・椎名大敷組合 ・民間事業者	アクションプランの取組開始:H27 ・椎名小学校利活用検討委員会(H27.3回) ・地元説明会(H27.9) ・地域住民との先進地視察(H28.5) ・地区住民によるワークショップ(H28.7)	・施設の利活用及び運営体制の検討 ・ウミガメ協議会や椎名大敷組合との連携 ・住民の組織づくり ・外部人材の活用	◆施設整備 ◆集落活動センターの設置 ◆情報発信

修正後

第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
施設整備 施設の改修							
管理運営体制の検討							
集落活動センターの設置 住民の組織づくり	事業内容の検討		事業活動の展開				
外部人材の活用							
情報発信 PR方法の検討		広報・PRの実施					



第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
施設整備 施設の改修		魚類等の展示と体験プログラムの実施					
管理運営体制の検討							
集落活動センターの設置 住民の組織づくり	事業内容の検討		事業活動の展開				
			外部人材の活用				
情報発信 PR方法の検討		広報・PRの実施					

修正項目(案)

【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
26 集落活動センター「かまん東川」を拠点とした魅力ある地域づくり 《安芸市》	安芸市東川地区の資源を活用した加工品の開発や、農産物の販路の拡大を通じて所得の向上を図るとともに、交流人口の拡大や移住促進の取組を通じて、持続可能な集落づくりを目指す。	・東川地域おこし協議会 ・かまん企画	アクションプランの取組開始:H26 ・集落活動センター「かまん東川」の開設(H25.9月) ・地域おこし協力隊による地域資源を活用した商品開発(紅茶やはちみつ等)や東京等での商品販売(H26) ・東川若いもんグループによるモニターツアー等イベントの企画、運営(H26~H27) ・東川ふれあい市の開催(H26~) ・HPの立ち上げ(H26) ・フェイスブックでの情報発信(H26~) ・入河内集落内の空き家調査(H26) ◆地域おこし協力隊により、地域資源を活用した新たな商品が出来た。また、HPやフェイスブックでの情報発信、新たな交流イベントの実施等により、地域外の方に関心を持ってもらえる機会が増えた。	・活動を収入につなげていく仕組みづくり ・集落活動センターの体制強化 ・地域資源を活用した加工品や農産物の販路の拡大 ・地域おこし協力隊への定住支援 ・移住促進に向けた住居の確保 ・交流イベントの内容充実と参加者の確保	◆地域資源を活用した新商品の開発 ◆農産物等の販路拡大 ◆交流人口の拡大 ◆移住促進への取組
修正前					



【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
27 集落活動センター「かまん東川」を拠点とした魅力ある地域づくり 《安芸市》	安芸市東川地区の資源を活用した加工品の開発や、農産物の販路の拡大を通じて所得の向上を図るとともに、交流人口の拡大や移住促進の取組を通じて、持続可能な集落づくりを目指す。	・東川地域おこし協議会 ・かまん企画	アクションプランの取組開始:H26 ・集落活動センター「かまん東川」の開設(H25.9月) ・地域おこし協力隊による地域資源を活用した商品開発(紅茶やはちみつ等)や東京等での商品販売(H26) ・東川若いもんグループによるモニターツアー等イベントの企画、運営(H26~27) ・東川ふれあい市の開催(H26~) ・HPの立ち上げ(H26) ・フェイスブックでの情報発信(H26~) ・入河内集落内の空き家調査(H26) ◆地域おこし協力隊により、地域資源を活用した新たな商品が出来た。また、HPやフェイスブックでの情報発信、新たな交流イベントの実施等により、地域外の方に関心を持ってもらえる機会が増えた。 ・任期を終えた元地域おこし協力隊(かまん企画)が中山間地域の買物困難者に対する支援として、移動販売事業を開始	・活動を収入につなげていく仕組みづくり ・集落活動センターの体制強化 ・地域資源を活用した加工品や農産物の販路の拡大 ・地域おこし協力隊への定住支援 ・移住促進に向けた住居の確保 ・交流イベントの内容充実と参加者の確保	◆地域資源を活用した新商品の開発 ◆農産物等の販路拡大 ◆交流人口の拡大 ◆移住促進への取組
修正後					

第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
地域資源を活用した新商品の開発					→	入河内大根生産量 (H26:3,000本)	5,000本
商品開発(新商品、ギフトセット等)							
販路拡大(ネット販売)							
販売体制の整備、東川のブランド作り							
農産物等の販路拡大					→	交流イベント参加者数 (H26:350人)	450人
入河内大根の栽培方法確立							
入河内大根生産拡大、販路拡大、加工品の検討							
交流人口の拡大					→		
交流イベントのブラッシュアップ、参加者との繋がりを持続できる取組の検討							
憩いの家の活用方法について検討・施設の改修等							
移住促進への取組					→		
空き家を移住促進住宅へ改修		移住促進住宅の開設、移住者の受入					
空き家活用に向けた取組(掘り起こし、交渉)							



第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
地域資源を活用した新商品の開発					→	入河内大根生産量 (H26:3,000本)	5,000本
商品開発(新商品、ギフトセット等)							
販路拡大(ネット販売)							
販売体制の整備、東川のブランド作り							
農産物等の販路拡大					→	交流イベント参加者数 (H26:350人)	450人
入河内大根の栽培方法確立							
入河内大根生産拡大、販路拡大、加工品の検討							
交流人口の拡大					→		
交流イベントのブラッシュアップ、参加者との繋がりを持続できる取組の検討							
憩いの家の活用方法について検討・施設の改修等							
移住促進への取組					→		
空き家を移住促進住宅へ改修		移住促進住宅の開設、移住者の受入					
空き家活用に向けた取組(掘り起こし、交渉)							

第3期計画					指標及び目標		
H28	H29	H30	H31	H32以降	指標	目標値(H31)	
拠点整備(集落活動センターの設置)					→		
仕組みづくり・活動の検討		活動の展開と見直し改善					
ふるさと納税制度を活用した地産外販の強化					→		
ふるさと納税返礼品手配事業の受託							
奈半利ブランドの確立のための商品開発、外販機能の強化及び町産品のPR等							
情報の発信・交流人口の拡大					→		
奈半利町観光協会の役割							
移住の促進(相談窓口の設置、空き家バンク、モニターハウスの管理)							
住民の集いの場、生きがいづくり					→		
住民サロンの運営、高齢者の生きがいづくり活動等、社会福祉部門との連携策の検討							
一次産業の振興					→		
農業検査拠点に向けた協議会の場での検討		農機具の貸出・作業受委託等、検討を踏まえた取組					



第3期計画					指標及び目標		
H28	H29	H30	H31	H32以降	指標	目標値(H31)	
拠点整備(集落活動センターの設置)					→	集出荷センター取扱高 (H27.7月～H28.6月: 2億円)	3億円
仕組みづくり・活動の検討		活動の展開と見直し改善					
ふるさと納税制度を活用した地産外販の強化					→		
ふるさと納税返礼品手配事業の受託							
奈半利ブランドの確立のための商品開発、外販機能の強化及び町産品のPR等							
情報の発信・交流人口の拡大					→		
奈半利町観光推進事業の実施							
移住の促進(相談窓口の設置、空き家バンク、モニターハウスの管理)							
住民の集いの場、生きがいづくり					→		
住民サロンの運営、高齢者のいきがいづくり活動等、社会福祉部門との連携策の検討							
一次産業の振興					→		
農業検査経営拠点稼働に向けた運営委員会での検討		農機具の貸出・作業受委託・新規就農者受入等の取組					
農作物の生産							

修正項目(案)

【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
28 安田中山地区の活性化プロジェクト 《安田町》	地区住民が主体となり、安田ふるさと応援隊と協力して集落活動センターの運営を行い、地域資源である自然薯の生産拡大に取り組むとともに、地域の観光資源を活用して交流人口の拡大を図るなど、中山地区を元気にする取組を推進する。	・安田町 ・中山を元気にする会 ・安田川漁協 ・自然薯生産組合 ・味工房じねん ・中山合同女性部	アクションプランの取組開始：H24 【施設改修】 ・旧中山小学校(集落活動センター)の耐震診断(H25) ・旧中山小学校(集落活動センター)の改修工事(H26) 【運営主体の取組】 ・中山を元気にする会運営会開催(H24) ・中山を元気にする会運営会の月例化(H25～) ・集落活動センター「なかやま」の開設(H25.4月) ・山芋試験栽培の実施(H26～) ・町シェアオフィス事業との連携開始(H26～) ・なかやま山芋まつりの活性化(H27来場者約1,400人、前年比約1.2倍) 【高知大学との連携】 ・高知大学・安田町連携事業協議会設置(H24) 【外部人材の導入】 ・安田町ふるさと応援隊の導入(H25～) ・H28.3月時点で4人が活動支援 ・集落調査員2人の採用(H25) ◆ふるさと応援隊の活動や大学との連携を通して地域住民の集落活性化への取組に対する参加意識が醸成されつつある。 また、地域の拠点が整備されたことにより、住民の集う機会も増加するなど集落活動センターを中心とした新たな動きが生まれてきた。	・集落活動センターの円滑な運営の継続、経済的自立に向けた仕組みづくり ・旧中山小学校未改修部分の活用策の検討	◆旧中山小中学校を活用した多機能総合交流拠点施設の整備 ◆集落活動センターの取組の充実 ◆経済的自立に向けた取組
修正前					



【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
29 安田中山地区の活性化プロジェクト 《安田町》	地区住民が主体となり、安田ふるさと応援隊と協力して集落活動センターの運営を行い、地域資源である自然薯の生産拡大に取り組むとともに、地域の観光資源を活用して交流人口の拡大を図るなど、中山地区を元気にする取組を推進する。	・安田町 ・中山を元気にする会 ・安田川漁協 ・自然薯生産組合 ・味工房じねん ・中山合同女性部	アクションプランの取組開始：H24 【施設改修】 ・旧中山小学校(集落活動センター)の耐震診断(H25) ・旧中山小学校(集落活動センター)の改修工事(H26) ・旧中山小中学校活用検討委員会設置(H28) 【運営主体の取組】 ・中山を元気にする会運営会開催(H24) ・中山を元気にする会運営会の月例化(H25～) ・集落活動センター「なかやま」の開設(H25.4月) ・山芋試験栽培の実施(H26～) ・町シェアオフィス事業との連携開始(H26～) ・なかやま山芋まつりの活性化(H28来場者約1,200人) 【高知大学との連携】 ・高知大学・安田町連携事業協議会設置(H24) 【外部人材の導入】 ・安田町ふるさと応援隊の導入(H25～) ・H28.3月時点で4人が活動支援 ・集落調査員2人の採用(H25) ◆ふるさと応援隊の活動や大学との連携を通して地域住民の集落活性化への取組に対する参加意識が醸成されつつある。 また、地域の拠点が整備されたことにより、住民の集う機会も増加するなど集落活動センターを中心とした新たな動きが生まれてきた。	・集落活動センターの円滑な運営の継続、経済的自立に向けた仕組みづくり ・旧中山小学校未改修部分の活用策の検討	◆旧中山小中学校を活用した多機能総合交流拠点施設の整備 ◆集落活動センターの取組の充実 ◆経済的自立に向けた取組
修正後					

第3期計画					指標及び目標		
H28	H29	H30	H31	H32以降	指標	目標値(H31)	
旧中山小中学校を活用した多機能総合交流拠点施設の整備					→	交流人口 (H26:3,329人)	3,600人
活用策の検討				じねんレジ通過者 (H26:25,711人)		28,000人	
温泉本掘作業	施設整備	施設を活用した地域のにぎわいづくり		集落活動センター利用者数 (H26.12月～H27.3月:689人)		3,200人	
集落活動センターの取組の充実					→		
地域福祉活動・支え合いの推進(集いの場・健康づくり活動等の発展と継続)							
大学連携事業による地域の活性化							
耕作放棄地の解消に向けた取組や空き家情報の収集活動							
観光資源の発掘と磨き上げ(魚梁瀬森林鉄道や郷土出身の維新の志士等の資源活用)	観光資源の活用による豊後光博覧会との連携		観光素材として定着化に向けた取組の継続				
経済的自立に向けた取組					→		
自然薯栽培拡大							
規格外品の加工、販売、販路の開拓							
ふるさと応援隊による特産品開発、販売							



第3期計画					指標及び目標		
H28	H29	H30	H31	H32以降	指標	目標値(H31)	
旧中山小中学校を活用した多機能総合交流拠点施設の整備					→	交流人口 (H26:3,329人)	3,600人
活用策の検討		施設整備(段階的に整備)		じねんレジ通過者 (H26:25,711人)		28,000人	
		施設を活用した地域のにぎわいづくり		集落活動センター利用者数 (H26.12月～H27.3月:689人)		3,200人	
集落活動センターの取組の充実					→		
地域福祉活動・支え合いの推進(集いの場・健康づくり活動等の発展と継続)							
大学連携事業による地域の活性化							
耕作放棄地の解消に向けた取組や空き家情報の収集活動							
観光資源の発掘と磨き上げ(魚梁瀬森林鉄道や郷土出身の維新の志士等の資源活用)	観光資源の活用による「志国高知 幕末維新博」との連携		観光素材として定着化に向けた取組の継続				
経済的自立に向けた取組					→		
自然薯栽培拡大							
規格外品の加工、販売、販路の開拓							
ふるさと応援隊による特産品開発、販売							

修正項目(案)

【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
29 北川村中部地区の活性化プロジェクト 《北川村》	北川村中部地区の集落活動の展開と北川村温泉の改修を契機とした誘客の強化により、交流人口を拡大することで、中山間地域の振興を図る。	・北川村 ・北川村中部地区集落活動協議会 ・北川村観光協会	・アクションプランの取組開始：H26 ・地場産品を販売する温泉直販市の設置(H25～) ・休耕田の整地と花畑作り、イベントの開催(H26～) ・温泉レストランでの地元産品の活用(H26)	・地域住民の高齢化にともなう人手不足 ・交流人口増加 ・中部地区集落活動協議会事務局体制の強化 ・地域住民の団結力や参画意識の醸成	◆地域交流活動の展開 ◆北川村温泉との連携 ◆田舎暮らし体験、移住促進への取組

修正前



【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
30 北川村中部地区の活性化プロジェクト 《北川村》	北川村中部地区の集落活動の展開と北川村温泉の改修を契機とした誘客の強化により、交流人口を拡大することで、中山間地域の振興を図る。	・北川村 ・北川村中部地区集落活動協議会 ・北川村観光協会	・アクションプランの取組開始：H26 ・地場産品を販売する温泉直販市の設置(H25～) ・休耕田の整地と花畑作り、イベントの開催(H26～) ・温泉レストランでの地元産品の活用(H26) ・ <u>地域食材を活かしたイベントの開催(H28)</u>	・地域住民の高齢化にともなう人手不足 ・交流人口増加 ・中部地区集落活動協議会事務局体制の強化 ・地域住民の団結力や参画意識の醸成	◆地域交流活動の展開 ◆北川村温泉との連携 ◆田舎暮らし体験、移住促進への取組

修正後

第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
地域交流活動の展開					→	交流イベント参加者数 (H27:400人)	700人
休耕田を活用した花畑づくりや関連イベントの企画、開催							
地域おこし協力隊導入の検討	地域おこし協力隊の活用						
新たな活動の掘り起こし							
北川村温泉との連携					→		
温泉施設のリニューアル工事	温泉での直販コーナー運営等、温泉と地域との連携イベントの開催						
温泉再開後の活動の検討	チラシ、ホームページ、マスコミ等を活用したイベントに係る情報発信						
田舎暮らし体験、移住促進への取組					→		
小島地区への移住お試し住宅整備の検討	ホームページやマスコミ等を活用した移住お試し住宅のPR・活用						
田舎暮らし体験メニューづくり(ゆず収穫、鮎釣り、田舎寿司づくり、民泊、家庭菜園等)							
空家の掘り起こしと改修							



第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
地域交流活動の展開					→	交流イベント参加者数 (H27:400人)	700人
休耕田を活用した花畑づくりや関連イベントの企画、開催							
地域おこし協力隊導入の検討と公募	地域おこし協力隊の活用						
新たな活動の掘り起こし							
北川村温泉との連携					→		
温泉施設のリニューアル工事	チラシ、ホームページ、マスコミを活用した情報発信						
温泉再開後の北川村中部地区集落活動協議会の活動の検討	温泉での直販コーナー運営等、温泉と地域との連携イベントの開催						
田舎暮らし体験、移住促進への取組					→		
小島地区への移住お試し住宅整備の検討と改修工事	移住お試し住宅のPRと利活用(マスコミ、ホームページ、移住相談会での広報)						
田舎暮らし体験メニューづくり(ゆず収穫、鮎釣り、田舎寿司づくり、家庭菜園等)	体験メニューの実施・ブラッシュアップ						

第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
外部人材の導入と住民組織づくり					丸山公園魚梁瀬森林 鉄道利用者数 (H24～26平均値: 1,523人)	1,830人以上	
高知ふるさと応援隊の追加導入							
高知ふるさと応援隊による地域活性化、観光振興、生活支援等の活動							
応援隊と住民による地区活性化に向けた定期的な話し合い							
地域活性化に向けた地域住民、小中学校、村役場協働の組織づくりとその運営							
土佐MBA等を活用した、新たな人材の発掘と育成					山村留学による魚梁 瀬地区への転入 (H26:4組)	5組 (H28～31累計)	
観光資源の発掘と住民主体の活動による資源の磨き上げ							
住民主体によるやな漁実施に向けた準備							
やな漁の継続開催による観光客の定着							
観光資源の磨き上げと新たな素材発掘							
新産業創出に向けた調査研究					丸山公園魚梁瀬森林 鉄道利用者数 (H24～26平均値: 1,523人)	1,830人以上	
以前に行ったワークショップや調査等の整理							
資源の有効活用(資源のリスタアップ)							
事業化検討(人材の確保・育成、視察研修)					丸山公園魚梁瀬森林 鉄道利用者数 (H24～26平均値: 1,523人)	1,830人以上	
事業計画策定							
魚梁瀬小中学校山村留学制度の拡充、強化							
山村留学の多様な受け入れ方法等の検討					丸山公園魚梁瀬森林 鉄道利用者数 (H24～26平均値: 1,523人)	1,830人以上	
学校・地域と連携した山村留学の実施・移住促進							
魚梁瀬50年記念行事を契機とした地域活性化の取組							
観光資源の磨き上げと新たな素材発掘					丸山公園魚梁瀬森林 鉄道利用者数 (H24～26平均値: 1,523人)	1,830人以上	
農業・林産等の資源の有効活用に向けた検討(資源のリスタアップ)							
事業化検討(人材の確保・育成、視察研修) 事業の試行による課題抽出・改善							
事業計画策定					丸山公園魚梁瀬森林 鉄道利用者数 (H24～26平均値: 1,523人)	1,830人以上	
事業の本格実施							
魚梁瀬小中学校山村留学制度の拡充、強化							
山村留学の多様な受け入れ方法等の検討及び情報発信					丸山公園魚梁瀬森林 鉄道利用者数 (H24～26平均値: 1,523人)	1,830人以上	
学校・地域と連携した山村留学の実施・移住促進							



第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
外部人材の導入と住民組織づくり					丸山公園魚梁瀬森林 鉄道利用者数 (H24～26平均値: 1,523人)	1,830人以上	
高知ふるさと応援隊の追加導入							
高知ふるさと応援隊による地域活性化、観光振興、生活支援等の活動							
応援隊と住民による地区活性化に向けた定期的な話し合い							
地域活性化に向けた地域住民、小中学校、村役場協働の組織づくりとその運営							
土佐MBA等を活用した、新たな人材の発掘と育成					山村留学による魚梁 瀬地区への転入 (H26:4組)	5組 (H28～31累計)	
地域資源を活用した産業おこし							
魚梁瀬50年記念行事を契機とした地域活性化の取組							
観光資源の磨き上げと新たな素材発掘							
農業・林産等の資源の有効活用に向けた検討(資源のリスタアップ)							
事業化検討(人材の確保・育成、視察研修) 事業の試行による課題抽出・改善					丸山公園魚梁瀬森林 鉄道利用者数 (H24～26平均値: 1,523人)	1,830人以上	
事業計画策定							
事業の本格実施							
魚梁瀬小中学校山村留学制度の拡充、強化					丸山公園魚梁瀬森林 鉄道利用者数 (H24～26平均値: 1,523人)	1,830人以上	
山村留学の多様な受け入れ方法等の検討及び情報発信							
学校・地域と連携した山村留学の実施・移住促進							

第3期計画					指標及び目標		
H28	H29	H30	H31	H32以降	指標	目標値(H31)	
地域情報発信 PR方法検討	PRの実施				→		
観光協会機能	村内外のイベントへの出展・イベントの企画運営						
移住・定住サポート 空き家掘り起こし	移住相談会等への参加・情報発信						
特産品づくりと外商活動 加工施設の検討	加工施設の建設・運営・特産品開発		外商活動				
生きがいつくりと生活支援 調査・内容検討	活動の展開						



第3期計画					指標及び目標		
H28	H29	H30	H31	H32以降	指標	目標値(H31)	
地域情報の発信 PR方法検討	PRの実施				→	サトウキビ収穫量 (H27:0t)	5t
観光協会機能	村内外のイベントへの出展・イベントの企画運営						
移住・定住サポート 空き家掘り起こし	移住相談会等への参加・情報発信						
特産品づくりと外商活動 加工施設の検討	加工施設の建設・運営・特産品開発		外商活動				
生きがいつくりと生活支援 調査・内容検討	活動の展開						
					移住世帯数 (H24~27:3世帯)	5世帯 (H28~31累計)	
					伝統作物(サトウキビ)の生産・販売		